

Intensive Japanese Programs

履修案内

Fall and Winter Terms

2024

令和6年度秋～冬学期



Center for Japanese Language and Culture
Osaka University

大阪大学日本語日本文化教育センター

INTENSIVE JAPANESE PROGRAMS

Fall and Winter Terms

2024

目次

学年暦	v
令和6年度秋～冬学期学年暦	v
大阪大学日本語日本文化教育センター 日本語プログラム	1
1. プログラムの種類	1
2. 授業	1
3. 試験・成績	3
4. 修了認定	5
5. 授業科目の履修	7
6. CJLC 事務室の事務取扱	9
7. CJLC 図書室	11
8. 証明書の様式	13
9. 気象警報の発表時等における授業の取扱いについて	15
学部留学生プログラム [U プログラム]	19
1. プログラムの概要	19
2. プログラムの修了要件	19
3. 開講科目の概要	21
3-1. 日本語科目	23
3-2. 専門科目	25
4. 次大学への進学	27
日本語・日本文化研修留学生プログラム [J プログラム]	29
1. プログラムの概要	29
2. プログラムの修了要件	33
3. 開講科目の概要	35
3-1. 必修科目	35
3-2. 選択科目	35
4. 見学・地域交流等の活動	47
メイプル・プログラム [M プログラム]	49
1. プログラムの概要	49
2. プログラムの修了要件	53
3. 開講科目の概要	55
3-1. 必修科目	55
3-2. 選択科目	57
4. 見学・地域交流等の活動	69

おおさかだいがく 大阪大学ファウンデーションプログラム [F プログラム]	71
1. プログラムの概要	71
2. プログラムの修了要件	73
3. 開講科目の概要	77
3-1. 日本語科目	77
3-2. 専門科目	85
3-3. 多文化・地域共生科目	87
じゅぎょういちらん 授業一覧	90
じかんわり 時間割	98
りやくごう 略号	108
みのお 箕面キャンパスマップ	110
ず フロア図	112
アドバイザー	116

ねんど がくねんれき
2024年度 学年暦 Academic Calendar 2024
《 J/M/Fプログラム (J/M/F Program) 》

ようび 曜日(Day) つき 月(Month)	にち 日 Sun.	げつ 月 Mon.	か 火 Tue.	すい 水 Wed.	もく 木 Thu.	きん 金 Fri.	ど 土 Sat.
10月 October			1	2	3	4	5
	6	健康診断	①	①	①	①	
	13	スポーツの日	②	②	②	②	
	20	①	③	③	③	③	
	27	②	④	④	④		
11月 November						大学祭準備 1	大学祭 2
	3	文化の日 振替休日	大学祭後片付け	⑤	⑤	④	
	10	③	⑤	⑥	⑥	⑤	
	17	④	⑥	見学旅行 (休講)		⑥	勤労感謝の日
	24	⑤	⑦	⑦	⑦	⑦	
12月 December	1	⑥	⑧	⑧	⑧	⑧	
	8	⑦	⑨	⑨	⑨	⑨	
	15	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	
	22	⑨	⑪	⑪			
	29	⑩	⑫				
2025年 2025				元日 1	2	3	4
	5	⑩	⑫	⑫	⑪	⑪	
	12	成人の日	⑬	⑬	⑫	休講	
	19	⑪	補講	補講	⑬	⑫	
	26	⑫	⑭	⑭	⑭	⑬	
1月 January							
							1
	2	⑬	⑮	⑮	⑮	⑭	
	9	⑭	建国記念の日	特別授業		⑮	
	16	⑮	特別授業				
2月 February	天童誕生日	振替休日					
	23	24	25	26	27	28	
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
3月 March							
	2	3	4	5	6	7	8
	9	*F修了式	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	春分の日 20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
30	31						

あき ふゆがつき
秋～冬学期 Fall and Winter Terms

10月8日～21日 October 8-21	りしゅうとうろくかくにんきかん 履修登録確認期間 Class Registration Confirmation Period
10月7日 October 7	けんこう しんだん 健康診断 Medical checkup
11月1日、2日、5日 November 1, 2, 5	だいがくさい 大学祭(準備と片付けを含む) University Festival (including preparation and cleanup)
11月20日～21日 November 20-21	けんがくりょこう きょうこう 見学旅行(休講) Study Trip (No Classes)
12月26日～1月5日 December 26 - January 5	ふゆやす 冬休み Winter Holidays
1月17日 January 17	きょうこう 休講 No Classes
1月21日、22日 January 21, 22	ほこう 補講 Make-up Classes
1月28～30、2月4～7、10、14、17日 January 28-30, February 4-7, 10, 14, 17	がくまつしけん 学期末試験 Final Examination
2月12日、18日 February 12, 18	とくべつじょうぎょう 特別授業 Special Classes
*3月10日 *March 10	*Fプログラム修了式 *F Program Closing Ceremony

しゅくじつ
<祝日 Public Holidays>

10月14日 October 14	スポーツの日 Sports Day
11月3日 November 3	ぶんか ひ 文化の日 Culture Day
11月4日 November 4	ふりかえきゅうじつ 振替休日 Substitute Holiday
11月23日 November 23	きんろうかんしゃ ひ 勤労感謝の日 Labour Thanksgiving Day
1月1日 January 1	がんにつ 元日 New Year's Day
1月8日 January 8	せいじん ひ 成人の日 Coming-of-age Day
2月11日 February 11	けんこくきねん ひ 建国記念の日 National Foundation Day
2月23日、24日 February 23, 24	てんのうたんじょうび ふりかえきゅうじつ 天皇誕生日、振替休日 Emperor's Birthday, Substitute Holiday
3月20日 March 20	しゅんぶん ひ 春分の日 Vernal Equinox Day
	じゅぎょうび 授業日 Classes
	ほこうび 補講日 Make-up Classes
	しけんび 試験日 Examinations

おおさかだいがくにほんごにほんぶんかきょういく
 大阪大学日本語日本文化教育センター
 にほんご
 日本語プログラム

1. プログラムの種類

おおさかだいがくにほんごにほんぶんかきょういく 大阪大学日本語日本文化教育センターでは、こくひがいこくじんりゅうがくせい 国費外国人留学生を主たる対象として、さまざま
 たんきしゅうちゅうにほんご 短期集中日本語プログラムを提供しています。プログラムはその内容により次のように区分さ
 れています。各プログラムの詳しい内容については、後掲のプログラム別履修案内のページを見
 てください。

- ① 学部留学生プログラム [U] (授業期間：4月～3月)
- ② 日本語・日本文化研修留学生プログラム [J] (授業期間：10月～8月)
- ③ メイプル・プログラム [M] (授業期間：10月～8月)
- ④ 大阪大学ファウンデーションプログラム [F] (授業期間：10月～3月)
- ⑤ 大阪・マヒドン連携短期留学日本語日本文化特別プログラム [O] (授業期間：3月～8月)

2. 授業

(1) 学期

ねん はる なつがつき がつ ついたち がつ にち あき ふゆがつき がつ ついたち よくねん がつ にち
 1年を春～夏学期(4月1日から9月30日まで)と秋～冬学期(10月1日から翌年3月31日)
 に分けます。

Uプログラムの授業は年間35週にわたって開講しています。

J及びMプログラムの授業は春～夏学期に15週、秋～冬学期に15週、年間30週、Fプログラムの授業は秋～冬学期にのみ15週にわたって開講しています。冬学期に8週、または春学期に8週のターム科目も開講しています。

(2) 授業時間

じゅぎょう じげん あ ぶん おこな げつようび きんようび にち じげんかいこう
 授業は1時限当たり90分で行い、月曜日から金曜日まで、1日5時限開講しています。

じ げん 時 限	じゅ ぎょう じ かん 授 業 時 間
だい じげん 第1時限	ごぜん 午前 8:50 - 10:20
だい じげん 第2時限	ごぜん 午前 10:30 - 12:00
だい じげん 第3時限	ごご 午後 1:30 - 3:00
だい じげん 第4時限	ごご 午後 3:10 - 4:40
だい じげん 第5時限	ごご 午後 4:50 - 6:20

(3) 学修時間

授業の方法に応じて学修時間を次のように定めています。

種別	講義・演習	
学修時間	授業 15 時間	自習 30 時間

種別	実習	
学修時間	授業 30 時間	自習 15 時間

(4) 休講

休講はCJLC事務室前の掲示板によって通知しますので、授業前に必ず確認してください。

休講の掲示がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当講師が出講しない場合は、CJLC事務室に連絡して、その指示を受けてください。

交通機関の運休や暴風警報・特別警報の発令によって授業が休講になる場合があります。

「気象警報の発表時等における授業の取扱いについて」(15ページ参照)に従って、休講になるかどうかを判断してください。

(5) 補講

授業の進度または休講を補う授業として補講が行われる場合があります。直接担当講師が指示するほか、掲示によっても通知します。

3. 試験・成績

(1) 試験

試験は、筆記試験、口頭試験、レポート、論文、実技等の方法によって行われます。出席回数、定期試験外に行われる試験の成績などが加味されることもあります。また、平常の成績をもって試験の成績に代える場合もあります。各授業がどのような評価方法を用いるかは、KOANからシラバスを参照してください。

● 試験に関する注意事項

- ① 試験に関する通知は掲示もしくは、授業担当講師から口頭で通知されます。
- ② 試験開始時間から30分以上遅れて来た場合は、試験を受けられませんので、遅れないように注意してください。試験開始後45分以降は、試験会場から退室することができます。
- ③ 試験中にカンニングなどの不正行為が発覚した場合は、即時受験を停止し、当該科目の無効を命じられます。不正行為を行った場合、学則により懲戒処分を受けます。
- ④ 履修登録をしていない科目を受験しても無効です。

(2) 成績の評価

履修した授業科目の成績は、次表のとおり「S・A・B・C・F」のランクで評価されます。

判定	合格				不合格
評価	S	A	B	C	F
成績 (100点満点)	100 - 90点	89 - 80点	79 - 70点	69 - 60点	59 - 0点

(3) 成績の通知

履修した授業科目の成績は、修了式以降に「成績証明書」として各自に配布します。

4. 修了認定

(1) 修了要件

プログラムにおいて所定の授業科目を修得することが必要です。具体的な授業科目名、科目数、必修・選択科目などの内訳は、後掲のプログラムごとの概要を参照してください。

修了の可否は、春～夏学期については8月に、秋～冬学期については3月に発表します。

(2) 修了証書

プログラムの所定の修了要件を、定められた履修方法によって修めた者には、「修了証書」が授与されます。

5. 授業科目の履修

(1) プレースメント —— 日本語レベルの判定

本センターで開講されている授業科目を履修するためには、日本語レベルの判定を受けなければなりません。日本語レベルの判定は、プレースメントテストによって行われます。文法、漢字、作文はCJLCのウェブサイトを受験します。プレースメントテストの詳細についてはメールでお知らせします。

(2) プログラム別オリエンテーション

学期開始前、または学期開始時にプログラム別オリエンテーションを行います。各プログラムの授業の履修に関する説明を行いますので、全員必ず出席してください。プログラム別オリエンテーションの日時や実施場所についてはメールでお知らせします。

(3) 履修登録

学期毎に履修希望アンケート（履修登録）を行います。
履修登録をしていない科目は、授業に出席していても修得したとは認められず、成績を受け取ることはできません。履修登録ミスがあっても、履修登録確認期間以降の訂正は認められませんので、くれぐれも登録ミスがないよう細心の注意を払って手続きをしてください。
履修登録確認期間は、授業開始から約2週間です。

● 履修登録に関する注意事項

- ① 指定された授業科目以外の科目を履修登録することはできません。
- ② 指定されたクラスの授業科目以外に登録できない授業科目があります。上記(2)のプログラム別オリエンテーションでの「履修上の注意」に留意し、その指示に従って履修してください。
- ③ 履修登録締切後、誤りがないかどうかチェックし、誤りが有ればすぐにCJLC事務室に申し出てください。

(4) 修了論文

本センターでは、修了論文を課しているプログラムやコースがあります。具体的には、後掲のプログラムごとの概要を参照し、指示に従って提出期限までに論文を提出してください。

6. CJLC 事務室の事務取扱

(1) 事務取扱時間

CJLC 事務室の事務取扱は次のとおりです。月曜日～金曜日（祝日を除く）

場 所	7階 日本語日本文化教育センター事務室	
窓口事務取扱時間	午前	10:00 - 11:30
	午後	12:30 - 4:30

(注) 臨時の休業や窓口取扱時間を変更する場合は、掲示で通知します。

(2) 教務関係事項の通知方法

授業や試験に関する連絡など教務関係の通知は、掲示かメールで行います。CJLC 事務室前の掲示版とメールを、授業前に必ず確認してください。

(3) 証明書

教務関係の証明書類は、CJLC 事務室窓口で「証明書交付願」により申請してください。原則として、申請日から7日後に受け取ることができます。ただし、年度末（3月）など混み合う時期は、10日程度の余裕を見ておいてください。

CJLC 事務室窓口で発行される教務関係の主な証明書については13ページを参照してください。

- ① 成績証明書
- ② 修了証明書
- ③ 在学証明書

7. CJLC 図書室

7階には、図書室があります。利用の際には「図書館利用者票」が必要です。

図書室には一般図書のほか、日本語学習の各種テキストや問題集などを配架しており、CDなどの付属教材を聴きながら学習できる自習コーナーもあります。

日本文学資料として、芸能、映画、ドラマやアニメなどのAV資料や、それを視聴するための設備も備えています。使いたい資料はCJLCのホームページの「日本文学資料データベース」で検索して下さい。コンピュータとプリンターも利用できます。

開室時間 月曜日～金曜日 10:00 - 18:20 (祝日を除く)

(注) その他必要に応じ、臨時に閉室することがあります。

しょうめいしょ ようしき 8. 証明書の様式

①-1 学^{がく}部^ぶ留^{りゅう}学^{がくせい}生^{せい}プロ^{ぷろ}グ^ぐラ^らム [U] 用^{よう}

No. _____			
成績証明書 (国費外国人留学生)			
所 属	日本語日本文化教育センター	年 月 日	入 学
国 籍	氏 名	年 月 日	修 了
個人番号		生年月日	性 別

教科・科目の評定		評定段階	特記事項		
教科・科目	評定	授業時数 (週当たり)	S: 90～100点 A: 80～89点 B: 70～79点 C: 60～59点 F: 0～59点 免: 履修免除		
日 本 語					
英 語					
文 科 系					
理 科 系					
合 計					
出欠の記録					
区分	学期	新学期		秋学期	合 計
	授業時数				
	欠席時数				
	出席時数				
備考: 新学期・・・4月～9月 秋学期・・・10月～3月					

本書の記載事項に相違ないことを証明する。

年 月 日

大阪大学
日本語日本文化教育センター長

①-2 学^{がく}部^ぶ留^{りゅう}学^{がくせい}生^{せい}プロ^{ぷろ}グ^ぐラ^らム [U] 以^い外^{がい}

成績証明書			
氏 名:	学 籍 番 号	生 年 月 日:	入 学 年 月 日:
所 属:			

科 目 名	単 位	修 得 単 位	評 価	科 目 名	単 位	修 得 単 位	評 価

評定: S=100～90, A=89～80, B=79～70, C=69～60, D=59～50, F=59以下

①部門(新学術系) ②部門(理工系) ③部門(文系) ④部門(農工系) ⑤部門(芸術系) ⑥部門(国際系) ⑦部門(国際系) ⑧部門(国際系) ⑨部門(国際系) ⑩部門(国際系) ⑪部門(国際系) ⑫部門(国際系) ⑬部門(国際系) ⑭部門(国際系) ⑮部門(国際系) ⑯部門(国際系) ⑰部門(国際系) ⑱部門(国際系) ⑲部門(国際系) ⑳部門(国際系) ㉑部門(国際系) ㉒部門(国際系) ㉓部門(国際系) ㉔部門(国際系) ㉕部門(国際系) ㉖部門(国際系) ㉗部門(国際系) ㉘部門(国際系) ㉙部門(国際系) ㉚部門(国際系) ㉛部門(国際系) ㉜部門(国際系) ㉝部門(国際系) ㉞部門(国際系) ㉟部門(国際系) ㊱部門(国際系) ㊲部門(国際系) ㊳部門(国際系) ㊴部門(国際系) ㊵部門(国際系) ㊶部門(国際系) ㊷部門(国際系) ㊸部門(国際系) ㊹部門(国際系) ㊺部門(国際系) ㊻部門(国際系) ㊼部門(国際系) ㊽部門(国際系) ㊾部門(国際系) ㊿部門(国際系)

①部門(新学術系) ②部門(理工系) ③部門(文系) ④部門(農工系) ⑤部門(芸術系) ⑥部門(国際系) ⑦部門(国際系) ⑧部門(国際系) ⑨部門(国際系) ⑩部門(国際系) ⑪部門(国際系) ⑫部門(国際系) ⑬部門(国際系) ⑭部門(国際系) ⑮部門(国際系) ⑯部門(国際系) ⑰部門(国際系) ⑱部門(国際系) ⑲部門(国際系) ⑳部門(国際系) ㉑部門(国際系) ㉒部門(国際系) ㉓部門(国際系) ㉔部門(国際系) ㉕部門(国際系) ㉖部門(国際系) ㉗部門(国際系) ㉘部門(国際系) ㉙部門(国際系) ㉚部門(国際系) ㉛部門(国際系) ㉜部門(国際系) ㉝部門(国際系) ㉞部門(国際系) ㉟部門(国際系) ㊱部門(国際系) ㊲部門(国際系) ㊳部門(国際系) ㊴部門(国際系) ㊵部門(国際系) ㊶部門(国際系) ㊷部門(国際系) ㊸部門(国際系) ㊹部門(国際系) ㊺部門(国際系) ㊻部門(国際系) ㊼部門(国際系) ㊽部門(国際系) ㊾部門(国際系) ㊿部門(国際系)

*リーディングはリーディングプログラム関連科目を指す。

上記のとおり証明する

年 月 日

大阪大学 総長
総長氏名

② プロ^{ぷろ}グ^ぐラ^らム 共^{きょう}通^{つう}

修了証明書	
課 程 在 学 期 間 身 分 氏 名 性 別 生 年 月 日 国 籍 修了年月日	
上記のとおり証明する。	
年 月 日	
大阪大学 日本語日本文化教育センター長 センター長氏名	

③ プロ^{ぷろ}グ^ぐラ^らム 共^{きょう}通^{つう}

在学証明書	
氏 名: 生 年 月 日: 入 学 年 月 日:	
上記のとおり在学していることを証明する	
年 月 日	
大阪大学 総長 総長氏名	

9. 気象警報の発表時等における授業の取扱いについて

- ・メディア授業（定期試験を含む。以下同じ。）については、この取扱いを適用せず、気象警報の発表時等においても原則として授業を実施します。
- ・ただし、メディア授業の実施が困難な事象が発生した場合は、授業開講部局の判断により休講とすることがあります。その場合は、KOAN等でお知らせします。
- ・学生の皆さんの居住地又は通学経路にある地域に暴風警報又は特別警報が発表された場合、震度5強以上の地震が発生した場合において、避難又はその準備をしなければならない等やむを得ない事情により、メディア授業を受講できない場合には、履修上不利としないよう配慮しますので、授業開講部局又は所属の教務担当者に申し出てください。

(1) 気象警報発表時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域」に「暴風警報」又は「特別警報*」が発表された場合、授業を休講とします。

なお、当該発表が授業開始後の場合は、次の時限の授業から休講とします。

- *「特別警報」については大雨、暴風、暴風雪、大雪など内容を限定せず、すべての「特別警報」を対象とします。

(2) 公共交通機関の運休時の取扱い

災害により、通学路線のうち以下の公共交通機関のいずれかが運行の休止又は運転の見合せ（以下、「運休」という。）となった場合（一部区間の運休を含む）、当該キャンパスで開講する授業を休講とします。

- ① 豊中キャンパス 阪急電車（宝塚線：大阪梅田－宝塚間）又は大阪モノレール（全線）
- ② 吹田キャンパス 阪急電車（千里線：大阪梅田／天神橋筋六丁目－北千里間）又は大阪モノレール（全線）
- ③ 箕面キャンパス 大阪メトロ（御堂筋線（北大阪急行路線含む）：梅田－箕面萱野）又は大阪モノレール（全線）

ただし、事故等による一時的な運転見合せについては、休講とはしません。

(3) 気象警報又は公共交通機関運休の解除時の取扱い

気象警報又は公共交通機関の運休が解除された場合の取扱いは次のとおりとします。

けいほう うんきゅうかいじょじこく 警報・運休解除時刻	じゅぎょう とりあつか 授業の取扱い
ごぜん じいぜん かいじょ ばあい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ごぜん じいぜん かいじょ ばあい 午前9時以前に解除された場合	ごごじゅぎょうじっし 午後授業実施
ごぜん じ けいか かいじょ ばあい 午前9時を経過しても解除されない場合	ぜんじつじゅぎょうきゅうぎゅう 全日授業休業

※ 解除の確認は、テレビ・ラジオ、インターネット等の報道によるものとする。

(4) 地震発生時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市」のいずれかで震度5強以上の地震が発生した場合、その日の授業を休講とします。ただし、地震の発生が午後5時15分以降の場合は、翌日の授業も休講とします。

また、地震が当該地域以外で発生した場合又は震度5強未満の場合は、公共交通機関の運行状況に応じて対応することとし、上記(2)の取扱いに従うこととします。

(5) 災害に伴う避難勧告又は避難指示発令時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市」のいずれかの市から、災害に伴う避難勧告又は避難指示（以下「避難勧告等」という。）が発令された地域（以下「避難地域」という。）に所在する部局においては、授業を休講とする場合があるので、部局からの連絡に従ってください。

(6) その他

この取扱いに該当しないため授業を実施する場合であっても、学生の皆さんの居住地域又は通学経路にある地域で、上記(1)と同様の気象警報が発表された場合、上記(4)と同様の地震が発生した場合、上記(2)以外の公共交通機関が運休した場合等やむを得ない事情により授業を欠席した場合は、履修上不利益とならないよう配慮しますので、授業開講部局又は所属部局の教務担当係に申し出てください。

気象警報の発表、公共交通機関の運休又は避難勧告等の発令が事前に予想される場合、又は緊急に休講措置の必要が生じた場合は、大学ホームページ又はKOANにおいて通知します。

メイプル・プログラム

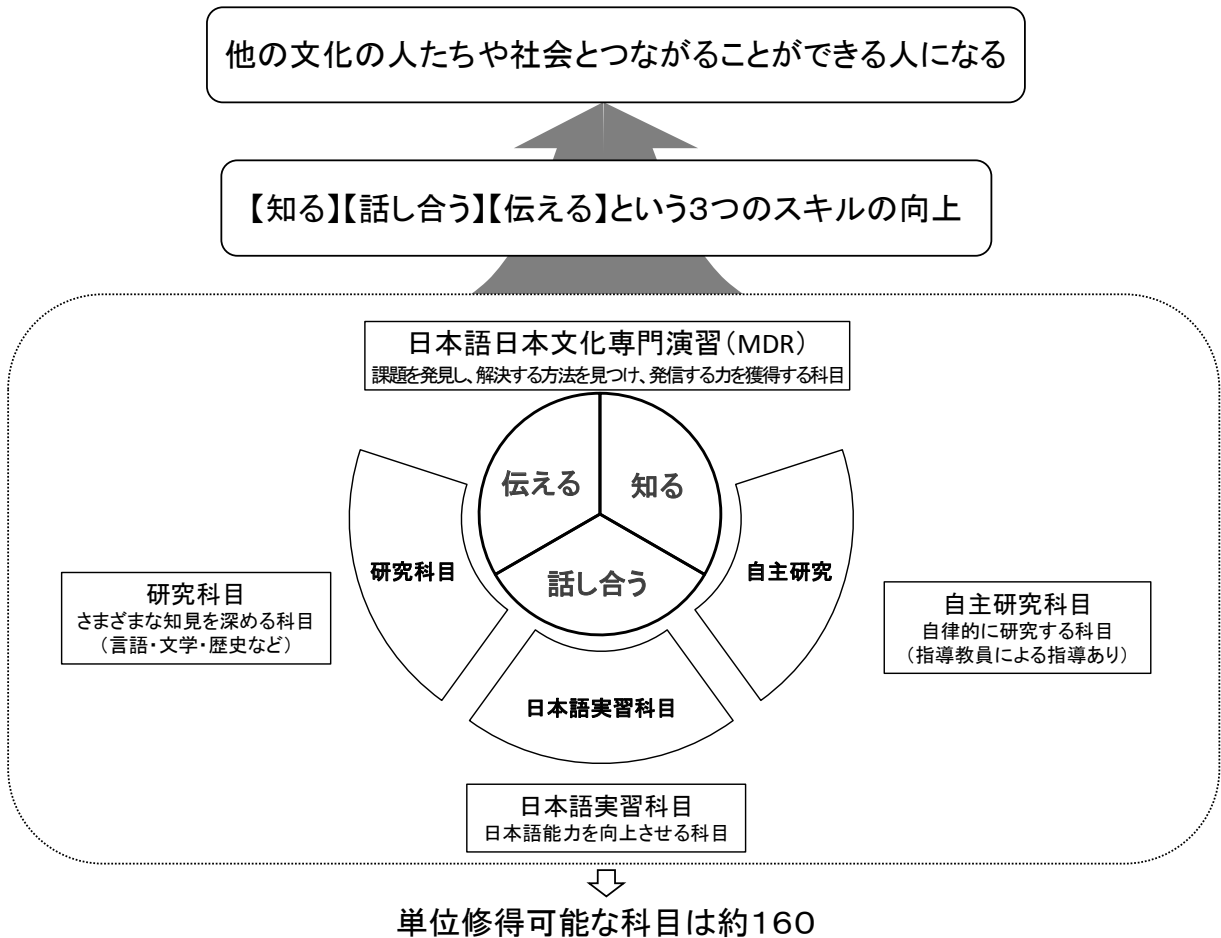
[Mプログラム]

1. プログラムの概要

メイプル・プログラム（大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム）は、大阪大学短期留学特別プログラムの一つで、日本語日本文化教育センターが教育デザインした1年間のプログラムです。

このプログラムは、学生がそれぞれの自分の目標に合わせて、日本語能力を高めること、日本の文化や社会についての知識を得ること、自国の言語・文化・社会と比較対照させながら、日本をさまざまな角度から理解し、世界に発信できる人材になることを目標としています。

このプログラムのすべての学生に対して、日本語日本文化教育センターのアドバイザーが、履修指導などの学習指導を行います。



コース区分

メイプル・プログラムは初中級コース、中級コース、中上級コース、上級コースを開講します。各学生の所属するコースは、プレースメントテストの結果にもとづいて決定されます。

初中級コース

プレースメントテストで日本語レベルが初中級（A2）レベルと判定された学生向けのコースです。「日本語日本文化専門演習」という必修科目でさまざまな体験を通して総合的に日本語・日本文化を学びます。また、「現代日本語初中級文法・語彙α」「現代日本語初中級文法・語彙β」という必修科目（MGV）を受け、基本的な文法や語彙を学びます。選択科目は、初中級レベルの科目以外に、中級レベル選択科目からも履修することができます。

中級コース

プレースメントテストで日本語レベルが中級（B1）レベルと判定された学生向けのコースです。「日本語日本文化専門演習」という必修科目でさまざまな体験を通して総合的に日本語・日本文化を学びます。また、「現代日本語中級文法・語彙α」「現代日本語中級文法・語彙β」という必修科目（MGV）を受け、より高度な文法や語彙を学びます。選択科目は、中級レベルの科目以外に、初中級レベル、中上級レベル選択科目からも履修することができます。

中上級コース

プレースメントテストで日本語レベルが中上級（B2）レベルと判定された学生向けのコースです。「日本語日本文化専門演習」という必修科目でさまざまな体験を通して総合的に日本語・日本文化を学びます。選択科目は、中上級レベルの科目以外に、中級レベル、上級レベル選択科目からも履修することができます。

上級コース

プレースメントテストで日本語レベルが上級（C1）レベルと判定された学生向けのコースです。「日本語日本文化専門演習」という必修科目でさまざまな体験を通して総合的に日本語・日本文化を学びます。選択科目は、上級レベルの科目以外に、中上級レベル選択科目からも履修することができます。

2. プログラムの修了要件

修了するためには、1年間で30単位以上、修得しなければなりません。

種別	授業科目	単位数	修了要件
必修	日本語日本文化専門演習 (MDR)	各2単位	通年 30単位以上
選択	研究科目 自主研究科目 (MIS)		
必修 (初中級コース)	現代日本語初中級文法・語彙α (MGV)	4単位	
	現代日本語初中級文法・語彙β (MGV)	2単位	
必修 (中級コース)	現代日本語中級文法・語彙α (MGV)	4単位	
	現代日本語中級文法・語彙β (MGV)	2単位	
選択	日本語実習科目	各1単位	
	多文化・地域共生科目 (MCC)*		

*「多文化・地域共生科目」は、ターム科目である。

※「現代日本語初中級文法・語彙α/β」「現代日本語中級文法・語彙α/β」は、指導教員の許可があれば、選択科目に代えることができます。

3. 開講科目の概要

メイプル・プログラムでは、日本語日本文化専門演習 (MDR)、日本語実習科目 (L)、現代日本語初中級文法・語彙 (MGV)、現代日本語中級文法・語彙 (MGV)、研究科目 (R)、自主研究科目 (MIS)、多文化・地域共生科目 (MCC) が開講されています。

3-1. 必修科目

必修科目は、全てのメイプル・プログラムの学生にとって必修の①【日本語日本文化専門演習】と、日本語レベルが初中級 (A2) と判定された学生にとって必修の②【現代日本語初中級文法・語彙 α/β 】と、日本語レベルが中級 (B1) と判定された学生にとって必修の③【現代日本語中級文法・語彙 α/β 】があります。

① 【日本語日本文化専門演習】 (MDR)

総合的に日本語・日本文化を学ぶことができます。近隣施設への実地見学 (社会・文化体験学習) や、日本人のチューターやティーチングアシスタント (学部生および大学院生) との課題解決型学習を通して、総合的に日本の言語・文化・社会を理解できる能力を養うことを目的としています。とくに円滑なコミュニケーションを行うための三技能 (「知る」「話し合う」「伝える」) を中心に能力の向上をはかります。

② 【現代日本語初中級文法・語彙 α/β 】 (MGV)

プレースメントテストで初中級レベル (A2) と判定された学生の必修科目です。日本語の基礎語彙、および基本的な文法を身につけ、運用力を伸ばすことを目的としています。 α (週4コマ) と、 β (週2コマ) の2科目あり、学生はプレースメントテストの結果にもとづき、決められた科目 (α のみ、または $\alpha \cdot \beta$ 両方) の授業を受けます。

③ 【現代日本語中級文法・語彙 α/β 】 (MGV)

プレースメントテストで中級レベル (B1) と判定された学生の必修科目です。やや高度な文法・語彙を身につけ、運用力を伸ばすことを目的としています。 α (週4コマ) と、 β (週2コマ) の2科目あり、学生はプレースメントテストの結果にもとづき、決められた科目 (α のみ、または $\alpha \cdot \beta$ 両方) の授業を受けます。

3-2. 選択科目

選択科目には、①【日本語実習科目】、②【研究科目】、③【自主研究科目】、④【多文化・地域共生科目】があります。

開講される授業については、「授業一覧」をご覧ください。

① 【日本語実習科目】

参加学生の日本語技能の習熟度に合わせて幅広く選択履修できるようにデザインされており、初中級科目、中級科目、中上級科目、上級科目の4レベルの科目を提供しています。各自の技能別能力に応じて、読解 (RDG)、聴解 (LIS)、文章表現 (WRT)、口頭表現 (SPK)、文法・語彙 (GV)、漢字・語彙 (KV) の科目から自由に選ぶことができます。

日本語初中級読解 (RDG)

[受講生のレベル：A2]

身近な状況についての文章・文字表現、たとえば、パンフレット・予定表・メニュー・簡単なメール・手紙などから情報を取り出すことができる。

日本語初中級聴解 (LIS)

[受講生のレベル：A2]

身近な状況についての話題・音声表現、はっきりした短いメッセージ・アナウンスについて、要点を把握することができる。

日本語初中級文章表現 (WRT)

[受講生のレベル：A2]

身近な状況についての、短いメッセージやメモを作ることができる。ごく短い個人的なメールを書くことができる。

日本語初中級口頭表現 (SPK)

[受講生のレベル：A2]

身近な状況について、簡単な言葉、一連の語句や文で説明できる。短い社交的なやりとりができる。

日本語初中級文法・語彙 (GV)

[受講生のレベル：A2]

基礎語彙の中でも簡単によく使われるものを理解することができる。最も基本的な文型を用いた表現を理解することができる。

日本語初中級漢字・語彙 (KV)

[受講生のレベル：A2]

日常使われる漢字の中でも簡単によく使われるものを読み書きすることができる。日常使われる漢字語彙の中でも簡単によく使われるものを理解することができる。

にほんごちゅうきゅうちようかい
日本語中級聴解 (RDG)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B1]

にちじょうせいかつ じぶん きょうみ のある ぶんや ぶんしょう かんたん しんぶん きじ こじんてき
日常生活や自分の興味のある分野についての文章、たとえば、簡単な新聞記事・個人的な
てがみ たいい りかい
手紙やメッセージの大意を理解することができる。

にほんごちゅうきゅうちようかい
日本語中級聴解 (LIS)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B1]

にちじょうせいかつ じぶん きょうみ ぶんや わだい てんきよほう えき
日常生活や自分の興味のある分野についての話題、天気予報や駅のアナウンスなどについて、
たいい じゅうよう はあく
大意・重要ポイントを把握することができる。

にほんごちゅうきゅうぶんしやうひょうげん
日本語中級文章表現 (WRT)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B1]

にちじょうせいかつ じぶん きょうみ ぶんや ぶんしょう ひょうげん みじか てがみ か
日常生活や自分の興味のある分野について、文章で表現できる。短い手紙やメールを書くこ
とができる。基本的な語句や表現を用い、つながりのある文章を書くことができる。

にほんごちゅうきゅうこうとうひょうげん
日本語中級口頭表現 (SPK)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B1]

にちじょうせいかつ じぶん きょうみ ぶんや わだい じせい いしき はな ふくぶん
日常生活や自分の興味のある分野についての話題について、時制を意識して話せる。複文を
もち ひょうげん たいわ いちたいいち かいわ
用いて表現できる。対話では、一対一の会話ができる。おおむね誤解のない発音ができる。

にほんごちゅうきゅうぶんぼう がい
日本語中級文法・語彙 (GV)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B1]

きそ がい りかい きほんてき ぶんけい もち ひょうげん りかい
基礎語彙のだいたいを理解することができる。基本的な文型を用いた表現を理解することが
できる。

にほんごちゅうきゅうかんじ がい
日本語中級漢字・語彙 (KV)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B1]

きほんてき かんじ よか きほんてき かんじ がい りかい
基本的な漢字を読み書きすることができる。基本的な漢字語彙を理解することができる。

にほんごちゅうじょうきゅうどっかい
日本語中上級読解 (RDG)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B2]

じぶん とくいぶんや せんもんてき ないよう にゅうもんてき がいせつてき きょうかしょ こうぎ しりょう りかい
自分の得意分野のやや専門的な内容、入門的・概説的な教科書や講義資料を理解できる。
げんだいぶんがく しょうせつ よ みち たんご いみ すいそく りかい ひっしゃ
現代文学の小説などを読むことができる。未知の単語でも、意味を推測して理解できる。筆者
の姿勢や意見を読み取ることができる。

にほんごちゅうじょうきゅうちようかい
日本語中上級聴解 (LIS)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B2]

じぶん とくいぶんや せんもんてき ないよう なが かいわ きそてき こうぎ りかい
自分の得意分野のやや専門的な内容、たとえば、長い会話や基礎的な講義を理解できる。テ
レビのニュースや時事問題の番組、映画を理解できる。未知の単語でも、意味を推測して理解
できる。

にほんごちゅうじょうきゅうぶんしょうひょうげん
日本語中上級文章表現 (WRT)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B2]

じぶん とくいぶんや せんもんてき ないよう せつめい ほうこく か じゅうぶん じかん
自分の得意分野のやや専門的な内容について、説明や報告が書ける。十分な時間があれば、
ろんぶん・レポートのスタイルでも文章にできる。事実の報告と自分の意見の表明を区別して表現
できる。構成を意識して段落を分けることができる。結束性のある文章を書くことができる。

にほんごちゅうじょうきゅうこうとうひょうげん
日本語中上級口頭表現 (SPK)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B2]

じぶん とくいぶんや せんもんてき ないよう めいかく くわ はな じゅうぶん じゅんび
自分の得意分野のやや専門的な内容について、明確に詳しく話せる。十分な準備をすれば、
けんきゅうはっぴょうのスタイルで表現することもできる。事実の報告と自分の意見の表明を区別して表現
できる。対話では、積極的に会話に参加できる。ある程度流暢に発話できる。

にほんごちゅうじょうきゅうぶんぼうごい
日本語中上級文法・語彙 (GV)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B2]

じぶん とくいぶんや きほんごい りかい きほんてき ぶんけい こうど ぶんけい
自分の得意分野の基本語彙を理解することができる。基本的な文型よりもやや高度な文型を
しょう しようぶん りかい
使用した表現でも理解できる。

にほんごちゅうじょうきゅうかんじごい
日本語中上級漢字・語彙 (KV)

じゅこうせい
[受講生のレベル：B2]

いっぱんてき かんじ こうど よ か いっぱんてき しょう
一般的な漢字のうち、やや高度なものも読み書きすることができる。一般的に使用されてい
る漢字語彙を理解でき、自分の得意分野であればそれよりもやや高度なものも理解することが
できる。

にほんごじょうきゅうどっかい
日本語上級読解 (RDG)

じゅこうせい
[受講生のレベル：C1]

たさい ぶんや ひょうじゆんてき ぶんたい ぶんしょう りかい とくいぶんや にゅうもんしょ がいせつしょ
多彩な分野の、標準的な文体の文章が理解できる。得意分野でないものでも入門書や概説書
であれば理解でき、得意分野であればさらに専門性の高い学術書や論文、講義資料を理解でき
る。文章の中で強調されている部分を見つけることができる。

にほんごじょうきゅうちようかい
日本語上級聴解 (LIS)

じゅこうせい
[受講生のレベル：C1]

たさい ぶんや ひょうじゆんてき ぶんたい わだい りかい とくいぶんや きそてき こうぎ
多彩な分野の、標準的な文体の話題が理解できる。得意分野でないものでも基礎的な講義で
あれば理解でき、得意分野であればさらに高度な内容であっても理解できる。ほとんどのテレ
ビ・映画を努力なしで鑑賞できる。3名以上の会話でも、その流れを把握できる。

にほんごじょうきゅうぶんしょうひょうげん
日本語上級文章表現 (WRT)

じゅこうせい
[受講生のレベル：C1]

たさい ぶんや せんもんてき ないよう ろんぶん ぶんしょう か
多彩な分野のやや専門的な内容を、論文・レポートのスタイルで文章に書くことができる。
いっかんせい ぶんしょう ぶんしょう なか みずか しゅちよう きょうちよう ひょうげん
一貫性のある文章をまとめることができる。文章の中で自らの主張を強調して表現することが
できる。

にほんごじょうきゅうこうとうひょうげん
日本語上級口頭表現 (SPK)

[受講生のレベル：C1]

たさいぶんやせんもんてきないようけんきゅうはっぴょうひょうげん
多彩な分野のやや専門的な内容を、研究発表のスタイルで表現することができる。どくわ
ひとつかんてんかんけつかんけつたいわほかさんかしゃいしきかいわ
一つの観点からまとめまで完結できる。対話では、他の参加者を意識して会話できる。ほとん
ことばまよ
ど言葉に迷わない。

にほんごじょうきゅうぶんぽうごい
日本語上級文法・語彙 (GV)

じゅこうせい
[受講生のレベル：C1]

たさいぶんやきほんごいりかいかうどぶんけいみくしゃかいせいかつうえ
多彩な分野の基本語彙を理解することができる。高度な文型を含め、社会生活をする上で
ひつようひとおぶんけいりかい
必要な一通りの文型を理解できる。

にほんごじょうきゅうかんじごい
日本語上級漢字・語彙 (KV)

じゅこうせい
[受講生のレベル：C1]

にちじょうつかいっぼんてきかんじよかしゃかいせいかつうえ
日常使われる一般的な漢字のだいたいを読み書きすることができる。社会生活をする上で
ひつようひとおかんじごいりかيجぶんとくいぶんやそうとうかうどりかい
必要な一通りの漢字語彙を理解でき、自分の得意分野であれば相当高度なものも理解すること
ができる。

② 【研究科目】

日本を対象とする各分野について専門的に学ぶための科目です。言語、言語教育をはじめ、思想、歴史、文学、社会などのさまざまな文化を比較対照的な視座から分析することで、知識や理論を学びます。より理解を深めるために、授業で得られた知見について討論を行うこともあります。日本語で教授される授業の他に英語で教授される授業も開講されています。

研究科目には、「日本語学研究」「日本語教育学研究」「日本思想文化学研究」「日本歴史文化学研究」「日本文献文化学研究」「日本近現代文化学研究」「日本社会文化学研究」があります。

また、それぞれの研究科目には、研究領域における基礎知識の導入を日本語運用能力に配慮しながら行う「〇〇研究基礎」という研究科目もあります。

日本語学研究 (LIN)

言語学的観点から日本語のさまざまな特徴について考え、理解を深める領域です。主に現代の日本語を対象とする音声学・音韻論、形態論・統語論、語用論・意味論のほか、類型論、対照言語学、社会言語学、日本語史なども扱います。

日本語教育学研究 (EDU)

日本語教育に必要な知識や観点を学ぶ分野です。日本語教育についての基本的な知識や第二言語習得、教授法などを扱います。この分野では、教育方法に対する理解を深めるため、日本語学・言語学など、関連する分野の日本語教育への応用も学びます。

日本思想文化学研究 (THO)

宗教学、民俗学、文化人類学などの観点から、日本人の考え方について学ぶ分野です。歴史的な観点から日本文化や社会に関する考察も行います。この分野は年中行事など日本の伝統文化も対象としています。

日本歴史文化学研究 (HIS)

古代から現代に至るまでの日本の歴史を学ぶ分野です。歴史を学ぶことを通して、日本社会や日本文化に関する考察も行います。この分野では文化史も扱います。そのほか、書道・茶道も対象としています。

日本文献文化学研究 (LIT)

奈良時代から江戸時代の間に書かれた日本の古典文学、明治時代から現代までに書かれた日本の近現代文学を学ぶ分野です。この分野では文学史や批評理論なども扱います。日本の伝統芸能も対象としています。

日本近現代文化学研究 (CON)

近現代の日本文化とその研究方法を学ぶ分野です。日本文化の特徴やその歴史的変遷、現代の日本社会が抱える問題について学びます。また、社会学や比較文化などの研究方法を習得することで、文化研究について理解を深めます。

日本社会文化学研究 (SOC)

政治、経済、経営などの観点から、日本の社会的側面を学ぶ分野です。この分野は国際関係なども対象としています。歴史的観点からの分析、時事的な問題の考察を通して、日本社会への理解を深めます。

③【自主研究科目】(MIS)

自主研究科目 (MIS) は、日本で一次資料を蒐集したり、それを講読したりして、調査研究を行うための科目です。自律的に情報収集や分析を行うことによって、日本語や日本文化に関してより深い知識の習得を目指します。受講生は、担当教員 (スーパーバイザー) から1対1で指導を受けることができます。この科目を履修するためには、書類選考と面接による審査があります。

④【多文化・地域共生科目】(MCC)

地域社会と連携し、まちづくり活動の一端を担うことで、地域住民との交流を深め、多文化・地域共生社会の実現化を目指す科目です。地域に住む多様な人々を理解し、受け入れ、ともに地域をつくっていくための交流活動を企画・運営します。

なお、この科目はターム科目で、冬学期 (集中講義) の「多文化・地域共生 (冬)」と春学期の「多文化・地域共生 (春)」の両方を履修することによって一連の学修が完了するようデザインされています。

4. 見学・地域交流等の活動

日本文化についての理解を深め、日本語能力を高めるために、以下のような学内外のさまざまな活動を計画しています。

- (1) 「日本語日本文化専門演習」の中で、近隣施設への実地見学（社会・文化体験）を行うことを計画しています。
- (2) 日本の歴史、民俗、経済、経営に対する理解を深めることを目的として、各地の名所を見学する研修旅行を計画しています。
- (3) 日本の芸術や文学に対する理解を深めることを目的として、歌舞伎、文楽などの鑑賞会を計画しています。
- (4) 地域の住民との交流を深めることを目的として、「多文化・地域共生」科目の履修者は、地域との共同開催によるイベント「No Border Fest in Minoh」の企画・運営に参加することができます。
- (5) 日本の生活文化を体験するために、国際教育交流センター（5階）が主催・紹介するホスト・ファミリープログラムやその他の行事に参加することができます。

※このほか、いろいろな活動があります。くわしいことはCJLC事務室または図書室前の掲示板に掲示しますので、よく見るようにしてください。

じゅ ぎょう いち らん
授 業 一 覧

List of Classes

※^{じゅぎょう}授業の^{くわ}詳しい^{ないよう}内容は KOAN を^み見てください。
See KOAN for details of each subject.

M Code	J Code	Category	Day・Period	Program	Level	Type	種別	授業科目名	Instructor(s)	教員	サブタイトル/授業テーマ
J/M/F (A2) Japanese Language Subjects											
1	395010	RDG	Mon. 3	J/M/F	A2	Rec.	実習	日本語初中級読解(秋冬)	TANAKA, Y.	田中桑子	音読と理解の基礎練習
2	395015	LIS	Wed. 3	J/M/F	A2	Rec.	実習	日本語初中級聴解(秋冬)	MIYAZAKI	宮崎さとみ	音声による言葉の認識と理解の基礎練習
3	395020	WRT	Thu. 4	J/M/F	A2	Rec.	実習	日本語初中級文章表現(秋冬)	ATSUTA	熱田万美	書き言葉と話し言葉
4	395025	SPK	Thu. 3	J/M/F	A2	Rec.	実習	日本語初中級口頭表現(秋冬)	MITO	三登由利子	描写・説明
5	395055	GV	Wed. 4	J/M/F	A2	Rec.	実習	日本語初中級文法・語彙(秋冬)	DUONG, T.	ズオン, T.	基本文型の整理と完成
6	395030	KV	Fri. 3	J/M/F	A2	Rec.	実習	日本語初中級漢字・語彙(秋冬)	SHIMOMURA	下村未有美	身近な漢字語彙
J/M/F (B1) Japanese Language Subjects											
7	395036	RDG	Mon. 1	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級読解(秋冬)	JIN	金珠	音読と理解の発展練習
8	395037	RDG	Wed. 1	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級聴解(秋冬)	YAMASHITA	山下春菜	速読の練習
9	395040	LIS	Mon. 3	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級聴解(秋冬)	KYOTANI	京谷麻矢	フォーマール・ガジュアルな場における対話の聴解
10	395041	LIS	Thu. 1	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級聴解(秋冬)	TATSUMI	辰巳委子	身の回りの日本語を聞く
11	395045	WRT	Wed. 4	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級文章表現(秋冬)	WADA	和田亜矢子	書くために必要なこと
12	395046	WRT	Thu. 3	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級文章表現(秋冬)	NAMBA	南場尚子	まとまりのある文章を書く
13	395050	SPK	Wed. 2	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級口頭表現(秋冬)	HATANO	波多野吉徳	交渉会話・交流会話
14	395051	SPK	Thu. 4	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級口頭表現(秋冬)	KAI	甲斐朋子	描写・説明
15	395052	SPK	Fri. 1	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級口頭表現(秋冬)	SHINJO	新庄あいみ	スピーチ/プレゼンテーション
16	395056	GV	Mon. 4	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級文法・語彙(秋冬)	FUJHIRA	藤平愛美	類似表現の整理と使い分け
17	395057	GV	Fri. 3	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級文法・語彙(秋冬)	MATSUOKA	松岡里奈	類似表現の整理と使い分け
18	395060	KV	Tue. 1	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級漢字・語彙(秋冬)	DUONG, T.	ズオン, T.	語構成から学ぶ漢語
19	395062	KV	Wed. 3	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級漢字・語彙(秋冬)	WADA	和田亜矢子	漢語と和語での類義表現
20	395064	KV	Thu. 5	J/M/F	B1	Rec.	実習	日本語中級漢字・語彙(秋冬)	KIM	金吉任	語構成から学ぶ漢語

M Code	J Code	Category	Day・Period	Program	Level	Type	種別	授業科目名	Instructor(s)	教員	サブタイトル/授業テーマ
J/M/F (B2) Japanese Language Subjects											
日本語実習科目											
21	395065	RDG	Mon. 5	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級読解(秋冬)	KAWASHIMA	川島信恵	専門性のある文章の読解
22	395066	RDG	Tue. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級読解(秋冬)	SHINOMIYA	四宮愛子	現代社会に関連した文章の読解
23	395067	RDG	Wed. 4	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級読解(秋冬)	HIROKAWA	廣川直幸	比較文学の読解の練習
24	395068	RDG	Thu. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級読解(秋冬)	TANAKA.S.	田中里美	日本語・日本文化を題材とした文章の読解
25	395069	RDG	Thu. 3	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級読解(秋冬)	MASHITA	真下恭子	現代社会に関連した文章の読解
26	395070	RDG	Fri. 3	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級読解(秋冬)	FURUTA	古田朋子	概説等学習用書籍の速読ストラテジー
27	395071	LLS	Mon. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級聴解(秋冬)	KIDA	木田則子	複数人の会話を聞く技術
28	395072	LLS	Mon. 4	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級聴解(秋冬)	KAWASHIMA	川島信恵	日常的な話題・場面の対話や独話の聴解
29	395073	LLS	Tue. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級聴解(秋冬)	YAMASHITA	山下春菜	様々なタイプの話者による独話・対話の聴解
30	395074	LLS	Thu. 5	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級聴解(秋冬)	ATSUTA	熱田万美	時事的な話題の独話・対話の聴解
31	395075	LLS	Fri. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級聴解(秋冬)	FUJIMOTO	藤本憲志	日本社会を題材とした独話・対話の聴解
32	395076	LLS	Fri. 3	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級聴解(秋冬)	FUJIM.	藤井みゆき	複数人の会話を聞く技術
33	395375	WRT	Mon. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文章表現(秋冬)	ABE	安部陽子	自然な日本語を書くためのトレーニング
34	395376	WRT	Wed. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文章表現(秋冬)	KITAGAWA	北川美香	自然な日本語を書くためのトレーニング
35	395377	WRT	Wed. 4	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文章表現(秋冬)	KOMORI	小森万里	アカデミック・ライティングの基礎
36	395378	WRT	Thu. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文章表現(秋冬)	NONAKA	野中篤	書評を書く
37	395379	WRT	Thu. 3	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文章表現(秋冬)	OKUNO	奥野紗衣	レポート・小論文の日本語
38	395380	WRT	Fri. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文章表現(秋冬)	FUJIMOTO	藤本憲志	様々な文書作成の基本
39	395080	SPK	Mon. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級口頭表現(秋冬)	MATSUSHIMA	松島弘枝	交渉会話
40	395081	SPK	Mon. 5	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級口頭表現(秋冬)	IWADE	岩出雪乃	スピーチ/プレゼンテーション
41	395082	SPK	Tue. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級口頭表現(秋冬)	SHINOMIYA	四宮愛子	ビジネス・コミュニケーション
42	395083	SPK	Wed. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級口頭表現(秋冬)	TANAKA. M.	田中舞	描写・説明
43	395084	SPK	Thu. 3	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級口頭表現(秋冬)	TANAKA. MA.	田中真衣	関係構築のための日本語会話
44	395385	GV	Mon. 3	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文法・語彙(秋冬)	ISHIBASHI	石橋玲央	接続表現・副詞句
45	395386	GV	Tue. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文法・語彙(秋冬)	FURUKAWA	古川由理子	表現のための文法・語彙
46	395387	GV	Wed. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文法・語彙(秋冬)	UEDA. M.	植田みのり	文体によって異なる表現形式
47	395388	GV	Wed. 3	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文法・語彙(秋冬)	HATANO	波多野吉徳	類義表現と言い換え
48	395389	GV	Thu. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文法・語彙(秋冬)	FUJII.C.	藤井千枝	文章を通して学ぶ表現・語彙
49	395390	GV	Fri. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級文法・語彙(秋冬)	INUJ	乾逸子	論文・発表のための日本語
50	395082	KV	Mon. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級漢字・語彙(秋冬)	ABE	安部陽子	慣用表現で学ぶ漢字語彙
51	395083	KV	Mon. 4	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級漢字・語彙(秋冬)	BABA	馬場裕子	連想マップで学ぶ漢字語彙
52	395084	KV	Wed. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級漢字・語彙(秋冬)	UEDA. M.	植田みのり	関連語を通して学ぶ漢字語彙
53	395085	KV	Thu. 2	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級漢字・語彙(秋冬)	NAMBA	南場尚子	同音異字語
54	395086	KV	Thu. 4	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級漢字・語彙(秋冬)	UEDA. A.	上田安希子	論文やレポートの漢字語彙
55	395087	KV	Fri. 1	J/M/F	B2	Rec.	実習	日本語中上級漢字・語彙(秋冬)	FURUKAWA	古川由理子	連想マップで学ぶ漢字語彙

M Code	J Code	Category	Day*Period	Program	Level	Type	種別	授業科目名	Instructor(s)	教員	サブタイトル/授業テーマ
J/M/F (C1) Japanese Language Subjects											
56	395099	RDG	Tue. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級読解(秋冬)	NAKATA	中田一志	日本語学の文章の読解
57	395100	RDG	Wed. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級読解(秋冬)	MIZUNO	水野亜紀子	文学作品の読解
58	395101	RDG	Thu. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級読解(秋冬)	NONAKA	野中篤	異文化比較・異言語比較に関する読解
59	395102	RDG	Thu. 5	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級読解(秋冬)	OKUNO	奥野紗衣	現代社会に関連した文章の読解
60	395103	RDG	Fri. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級読解(秋冬)	FURUTA	古田朋子	専門性のある文章の読解
61	395105	LIS	Mon. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級聴解(秋冬)	OHIDA	千田愛	日本語・日本文化を題材とした対話や独話の聴解
62	395106	LIS	Mon. 3	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級聴解(秋冬)	IWADE	岩出雪乃	時事的な話題の独話・対話の詳細な聴解
63	395107	LIS	Tue. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級聴解(秋冬)	FURUKAWA	古川由理子	やや専門的な学術分野の独話・対話の聴解
64	395108	LIS	Wed. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級聴解(秋冬)	IWAI, Y.	岩井康雄	複数の人の会話を聞く技術
65	395109	LIS	Thu. 5	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級聴解(秋冬)	TAKATSUKI	高月喜美	時事的な話題の独話・対話の詳細な聴解
66	395310	WRT	Mon. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文章表現(秋冬)	OHIDA	千田愛	書くために必要なこと
67	395311	WRT	Wed. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文章表現(秋冬)	KUBOTA	久保田ゆかり	小論文・レポート作成の技法
68	395312	WRT	Wed. 3	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文章表現(秋冬)	SUZUKI, M.	鈴木真理子	論文を書くための実践コース
69	395313	WRT	Thu. 3	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文章表現(秋冬)	YAMAMOTO, K.	山本一也	映像を見て、文章を書く
70	395314	WRT	Fri. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文章表現(秋冬)	INUJI	乾逸子	様々な文書作成の基本
71	395116	SPK	Mon. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級口頭表現(秋冬)	TANAKA, Y.	田中泰子	ビジネス・コミュニケーション
72	395117	SPK	Tue. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級口頭表現(秋冬)	YAMASHITA	山下春菜	スピーチ/プレゼンテーション
73	395118	SPK	Wed. 5	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級口頭表現(秋冬)	TAKAI	高井美穂	関係構築のための日本語会話
74	395119	SPK	Thu. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級口頭表現(秋冬)	HATANO	波多野吉徳	議論
75	395120	SPK	Fri. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級口頭表現(秋冬)	FURUTA	古田朋子	交渉会話
76	395121	SPK	Fri. 4	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級口頭表現(秋冬)	ATSUTA	熱田万美	ビジネス・コミュニケーション
77	395124	GV	Mon. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文法・語彙(秋冬)	KISHIDA	岸田泰浩	関西弁の文法
78	395125	GV	Mon. 4	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文法・語彙(秋冬)	IWADE	岩出雪乃	慣用表現
79	395126	GV	Wed. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文法・語彙(秋冬)	TANAKA, M.	田中舞	時事日本語
80	395127	GV	Wed. 3	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文法・語彙(秋冬)	NAKATA	中田一志	日本事情から見える言葉
81	395128	GV	Thu. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文法・語彙(秋冬)	YAMAZAWA	山澤園子	名言・名句
82	395129	GV	Thu. 4	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級文法・語彙(秋冬)	OKUNO	奥野紗衣	役割語
83	395130	KV	Mon. 3	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級漢字・語彙(秋冬)	OHIDA	千田愛	新聞で用いられる漢語
84	395131	KV	Tue. 1	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級漢字・語彙(秋冬)	KASAMATSU	笠松瑞子	同音異字語
85	395132	KV	Wed. 5	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級漢字・語彙(秋冬)	HIROKAWA	廣川直幸	文脈で学ぶ漢字語彙
86	395133	KV	Thu. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級漢字・語彙(秋冬)	TANAKA, S.	田中里美	漢語と和語での類義表現
87	395134	KV	Fri. 2	J/M/F	C1	Rec.	実習	日本語上級漢字・語彙(秋冬)	SUZUKI, Y.	鈴木由香里	同音異字・同訓異字語

M Code	J Code	Category	Day*Period	Program	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	サブタイトル/授業テーマ
								J/M (B2)	Research Subjects 研究科目			
88	39JN02	LIN	Wed. 5	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本語学研究基礎(秋冬)2	SHOJI	荘同育子	形態論	
89	39JE02	EDU	Fri. 3	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本語教育学研究基礎(秋冬)1	SUZUKI, Y.	鈴木由香里	文法・語彙の指導	
90	39JT00	THO	Mon. 1	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本思想文化学研究基礎(秋冬)1	MOTOBAYASHI	本林靖久	日本民俗文化論	
91	39JT02	THO	Tue. 1	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本思想文化学研究基礎(秋冬)2	SHIBATA etc.	柴田芳成ほか	日本文化入門	
92	39JT04	THO	Tue. 2	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本思想文化学研究基礎(秋冬)3	MATSUMURA	松村薫子	日本民俗文化論	
93	39JT06	THO	Fri. 3	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本思想文化学研究基礎(秋冬)4	WATANABE.C.	渡邊親文	日本宗教思想論	
94	39JT08	THO	Fri. 4	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本思想文化学研究基礎(秋冬)5	ONISHI	大西薫	日本宗教文化論	
95	39JH02	HIS	Mon. 3	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究基礎(秋冬)2	HISAOKA	久岡明穂	茶道	
96	39JH04	HIS	Mon. 3	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究基礎(秋冬)3	FUKUMITSU	福光由布	書道	
97	39JH06	HIS	Mon. 4	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究基礎(秋冬)4	FUKUMITSU	福光由布	書道	
98	39JH08	HIS	Wed. 2	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究基礎(秋冬)5	SANO, M.	佐野方郁	日本史入門	
99	39JH10	HIS	Thu. 4	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究基礎(秋冬)6	INOMO	井面舞	日本美術史	
100	39JH12	HIS	Fri. 1	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究基礎(秋冬)7	SATO, S.	佐藤早紀子	日本文化史入門	
101	39JL00	LIT	Mon. 2	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本文献文化学研究基礎(秋冬)1	HISAOKA	久岡明穂	日本古典文学	
102	39JL02	LIT	Mon. 3	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本文献文化学研究基礎(秋冬)2	GONOJI	五之治昌比呂	日本近現代文学	
103	39JL04	LIT	Fri. 4	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本文献文化学研究基礎(秋冬)3	SHIBATA	柴田芳成	日本古典芸能	
104	39JC02	CON	Mon. 4	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究基礎(秋冬)2	TSUNODA	角田煉	社会学	
105	39JC04	CON	Wed. 1	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究基礎(秋冬)3	BERZIKOVA	ベレゾワ, T.	日本近現代文化史	
106	39JC06	CON	Wed. 3	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究基礎(秋冬)4	IWAJ, S.	岩井茂樹	比較文化学	
107	39JC08	CON	Wed. 5	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究基礎(秋冬)5	OTANI	大谷晋平	日本の映画	
108	39JC10	CON	Thu. 4	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究基礎(秋冬)6	KOBAYASHI, S.	小林翔	マンガ・アニメ学	
109	39JC12	CON	Thu. 5	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究基礎(秋冬)7	PENG	彭永成	日本のメディア文化	
110	39JS00	SOC	Wed. 2	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会文化学研究基礎(秋冬)1	KUBOTA	久保田ゆかり	日本政治学	
111	39JS02	SOC	Wed. 3	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会文化学研究基礎(秋冬)2	IMURA	井村美根	日本経営学	
112	39JS04	SOC	Fri. 4	J/M	B2	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会文化学研究基礎(秋冬)3	ITO	伊藤敏雄	日本経済学	

M Code	J Code	Category	Day・Period	Program	Level	Type	種別	授業科目名	Instructor(s)	教員	サブタイトル/授業テーマ
J / M (C 1) Research Subjects 研究 科 目											
113	39JN22	LIN	Mon. 5	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本語学研究(秋冬)1	IMAI	今井忍	意味論
114	39JN24	LIN	Wed. 3	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本語学研究(秋冬)2	IWAI, Y.	岩井康雄	音声学・音韻論
115	39JN26	LIN	Wed. 4	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本語学研究(秋冬)3	NAKATA	中田一志	語用論
116	39JH22	HIS	Wed. 4	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究(秋冬)1	SANO, M.	佐野方郁	日本近現代史
117	39JH24	HIS	Thu. 1	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究(秋冬)2	TAIRA	平良聡弘	日本近現代史
118	39JH26	HIS	Thu. 3	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究(秋冬)3	INOMO	井面舞	日本美術史
119	39JH28	HIS	Thu. 4	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究(秋冬)4	YAMAMOTO, K.	山本一也	日本古代史
120	39JH30	HIS	Fri. 4	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究(秋冬)5	KOYAMA	小山有子	日本服装史
121	39JL22	LIT	Mon. 4	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本文献文化学研究(秋冬)1	MIZUNO	水野亜紀子	日本近現代文学
122	39JL26	LIT	Fri. 2	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本文献文化学研究(秋冬)2	SATO, S.	佐藤早紀子	日本古典文法
123	39JL26	LIT	Fri. 3	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本文献文化学研究(秋冬)3	SHIBATA	柴田芳成	日本古典文学
124	39JC22	CON	Mon. 2	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究(秋冬)1	MOTOBAYASHI	本林靖久	日本現代社会
125	39JC24	CON	Fri. 3	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究(秋冬)2	KOYAMA	小山有子	女性学
126	39JS22	SOC	Mon. 5	J/M	C1	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会文化学研究(秋冬)1	HAYASHI, H.	林光	国際関係
J (B1) Japanese Language Subjects 日本語実習科目 (JGV)											
127	39JGV1	JGV	Mon. 3	J	B1	Rec.	実習	日本語中級文法・語彙(秋冬)	TATSUMI	辰巳委子	-
128	39JGV2	JGV	Thu. 3	J	B1	Rec.	実習	日本語中級文法・語彙(秋冬)	FUJII, C.	藤井千枝	-
129	39JGV3	JGV	Mon. 3	J	B1	Rec.	実習	日本語中級文法・語彙(秋冬)	ABE	安部陽子	-
130	39JGV4	JGV	Thu. 3	J	B1	Rec.	実習	日本語中級文法・語彙(秋冬)	NAKAMURA	中村正美	-
Directed Research & Reading Subjects 日本語・日本文化研究 / 研修指導 (JDR)											
131	39J041	JDR	Tue. 3	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	IWAI, Y.	岩井康雄	-
132	39J042	JDR	Tue. 3	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	GONOJI	五之治昌比呂	-
133	39J043	JDR	Tue. 3	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	SHOJI	莊司育子	-
134	39J044	JDR	Tue. 3	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	NAKATA	中田一志	-
135	39J045	JDR	Tue. 3	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	MURATA	村田真実	-
136	39J058	JDR	Tue. 3	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研修指導(秋冬)	SHIBATA	柴田芳成	-
137	39J059	JDR	Tue. 3	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研修指導(秋冬)	MIZUNO	水野亜紀子	-
138	39J046	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	IWAI, S.	岩井茂樹	-
139	39J047	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	GONOJI	五之治昌比呂	-
140	39J048	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	KOMORI	小森万里	-
141	39J049	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	SANO, M.	佐野方郁	-
142	39J050	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	SHIBATA	柴田芳成	-
143	39J051	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	TAKAI	高井美穂	-
144	39J053	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	FUJIIHARA	藤平愛美	-
145	39J054	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	MIZUNO	水野亜紀子	-
146	39J055	JDR	Tue. 4	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	MURATA	村田真実	-
147	39J056	JDR	Tue. 5	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	MATSUMURA	松村薫子	-
148	39J057	JDR	Tue. 5	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研究指導(秋冬)	YAMAKAWA	山川太	-
149	39J061	JDR	Tue. 5	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研修指導(秋冬)	IMAI	今井忍	-
150	39J062	JDR	Tue. 5	J	-	Sem.	演習	日本語・日本文化研修指導(秋冬)	MATSUURA	松浦幸祐	-

M Code	J Code	Category	Day/Period	Program	Level	Type	種別	授業科目名	Instructor(s)	教員	サブタイトル/授業テーマ
M (A2) Japanese Language Subjects 日本語実習科目 (MGV)											
151	395001	MGV α	Mon. 2	M	A2	Rec.	実習	現代日本語初中級文法・語彙 α (秋冬)	KYOTANI	京谷麻矢	—
152	395001	MGV α	Tue. 2	M	A2	Rec.	実習		KOMORI	小森万里	—
153	395001	MGV α	Thu. 2	M	A2	Rec.	実習		TATSUMI	辰巴委子	—
154	395001	MGV α	Fri. 2	M	A2	Rec.	実習		FUJIM.	藤井みゆき	—
155	395002	MGV β	Mon. 1	M	A2	Rec.	実習	現代日本語初中級文法・語彙 β (秋冬)	MATSUSHIMA	松島弘枝	—
156	395002	MGV β	Wed. 2	M	A2	Rec.	実習		AKIYAMA	秋山麻衣耶	—
M (B1) Japanese Language Subjects 日本語実習科目 (MGV)											
157	395003	MGV α 1	Mon. 2	M	B1	Rec.	実習	現代日本語中級文法・語彙 α (秋冬)	FUJHIRA	藤平愛美	—
158	395003	MGV α 1	Tue. 2	M	B1	Rec.	実習		KASAMATSU	笠松端子	—
159	395003	MGV α 1	Thu. 2	M	B1	Rec.	実習		TANAKA, MA.	田中真衣	—
160	395003	MGV α 1	Fri. 2	M	B1	Rec.	実習		SHINJO	新庄あいみ	—
161	395004	MGV α 2	Mon. 2	M	B1	Rec.	実習	現代日本語中級文法・語彙 α (秋冬)	TANAKA, Y.	田中泰子	—
162	395004	MGV α 2	Tue. 2	M	B1	Rec.	実習		TAKAI	高井美穂	—
163	395004	MGV α 2	Thu. 2	M	B1	Rec.	実習		FUJII.C.	藤井千枝	—
164	395004	MGV α 2	Fri. 2	M	B1	Rec.	実習		TACHIKAWA	立川真紀絵	—
M (-) Research Subjects in English 英語による研究科目											
165	395140	LIN	Wed. 5	M	—	Lec./Sem.	講義/演習	日本語学研究基礎 (秋冬)1	VRBOVSKY	ガルボウスキー, M.	日本語学概論
166	395180	HIS	Mon. 5	M	—	Lec./Sem.	講義/演習	日本歴史文化学研究基礎 (秋冬)1	FUKUMITSU	福光由布	書道
167	395200	CON	Fri. 4	M	—	Lec./Sem.	講義/演習	日本近現代文化学研究基礎 (秋冬)1	WATANABE.C.	渡邊緑文	日本現代社会
Directed Research and Reading Subjects 日本語日本文化専門演習 (MDR)											
168	395220	MDR	Tue. 3	M	—	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習 (秋冬)	IWAI, S.	岩井茂樹	—
169	395221	MDR	Tue. 3	M	—	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習 (秋冬)	KOMORI	小森万里	—
170	395223	MDR	Tue. 3	M	—	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習 (秋冬)	TAKAI	高井美穂	—
171	395224	MDR	Tue. 3	M	—	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習 (秋冬)	TACHIKAWA SHIMOMURA	立川真紀絵 下村未有美	—
172	395225	MDR	Tue. 3	M	—	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習 (秋冬)	MATSUOKA	松岡里奈	—
Independent Studies Subjects 自主研究科目 (MIS)											
173	395230	MIS	Tue. 5	M	—	Sem.	演習	自主研究 (秋冬)	IWAI, S.	岩井茂樹	—
174	395231	MIS	Tue. 5	M	—	Sem.	演習	自主研究 (秋冬)	GONOJI	五之治昌比呂	—
175	395232	MIS	Tue. 5	M	—	Sem.	演習	自主研究 (秋冬)	MURATA	村田真実	—

じ かん わり
時 間 割

Weekly Schedule

令和6年度 秋～冬学期 時間割表

月	火	水	木	金
U1 必修 U2 必修 U3 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 M A2 J/M/F B1 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M B2	U1 必修 U2 必修 U3 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 M A2 J/M/F B1 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M B2	U 必修 U 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M 選択	U1 必修 U2 必修 U3 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M 選択	U 必修 U 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M 選択
金田英里 鳥千尋 石橋玲央 林希和子 荒島淳子 大塚淳子 辰巳委子 松島弘枝 金珠 木田則子 安部陽子 田中泰子 千田愛 本林靖久	近藤正憲 小林可奈子 福島薫 鳥千尋 廣坂直子 齋藤佳奈 秋山麻衣耶 大塚淳子 大オオン,T. 四宮愛子 古川由理子 山下春菜 笠松瑞子 柴田芳成ほか	乾逸子 林和子 山澤麻矢 京谷麻矢 鈴木真理子 宮崎さとみ 古賀静香 山下春菜 植田みのり 北川美香 田中舞 久保田ゆかり ペレジコワ,T.	菅蓀子 荒島和子 真下恭子 福富奈美 日比伊奈穂 中村正美 松本恵美子 三登由利子 辰巳委子 田中真衣 藤井千枝 野中篤 山澤園子 平良聡弘	日比伊奈穂 山本幸枝 植田みのり 鈴木真理子 井手恭子 中嶋伸子 林希和子 新庄あいみ 藤本憲志 古川由理子 吉田朋子 乾逸子 佐藤早紀子
U1 必修 U2 必修 U3 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 M A2 J/M/F B1 J/M/F B1 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M C1	U1 必修 U2 必修 U3 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 M A2 J/M/F B1 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M C1	U 必修 U 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M/F 選択 J/M 選択	U1 必修 U2 必修 U3 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 M A2 J/M/F B1 J/M/F B1 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M C1	U 必修 U 必修 U4 必修 U5 必修 U6 必修 U7 必修 U8 必修 M A2 J/M/F B1 J/M/F B1 J/M/F B2 J/M/F B2 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M/F C1 J/M C1
金田英里 鳥千尋 石橋玲央 林希和子 荒島淳子 大塚淳子 辰巳委子 藤平愛美 田中泰子 木田則子 安部陽子 松島弘枝 千田愛 岸田泰浩 久岡明穂 本林靖久	近藤正憲 小林可奈子 福島薫 鳥千尋 廣坂直子 齋藤佳奈 秋山麻衣耶 大塚淳子 小森万里 笠松瑞子 高井美穂 莊司智子 四宮愛子 山下春菜 中田一志 古川由理子 松村薫子	乾逸子 林和子 山澤麻矢 京谷麻矢 鈴木真理子 宮崎さとみ 古賀静香 秋山麻衣耶 波多野吉徳 田中舞 植田みのり 水野亜紀子 岩井亜雄 佐野方都 久保田ゆかり	菅蓀子 荒島和子 真下恭子 福富奈美 日比伊奈穂 中村正美 松本恵美子 三登由利子 辰巳委子 田中真衣 藤井千枝 山澤園子 野中篤 田中里美 波多野吉徳	日比伊奈穂 山本幸枝 植田みのり 鈴木真理子 井手恭子 中嶋伸子 林希和子 藤井みゆき 新庄あいみ 立川真紀絵 山川大 藤本憲志 古田朋子 乾逸子 鈴木由香里 佐藤早紀子

Fall and Winter Terms, 2024

Monday			Tuesday			Wednesday			Thursday			Friday		
Rq	U1	KANEDA	Rq	U1	KONDO	Rq	U	INUI	Rq	U1	KAN	Rq	U	HIBI
Rq	U2	SHIMA	Rq	U2	KOBAYASHI, K.	Rq	U	HAYASHI, KA.	Rq	U2	ARASHIMA	Rq	U	YAMAMOTO
Rq	U3	MİYAZAKI	Rq	U3	FUKUSHIMA	Rq	U4	YAMAZAWA	Rq	U3	MASHITA	Rq	U4	UEDA, M.
Rq	U4	ISHIBASHI	Rq	U4	SHIMA	Rq	U5	KYOTANI	Rq	U4	FUKUTOMI	Rq	U5	SUZUKI, M.
Rq	U5	HAYASHI, KI.	Rq	U5	HIROSAKA	Rq	U6	SUZUKI, M.	Rq	U5	HIBI	Rq	U6	IDE
Rq	U6	ARASHIMA	Rq	U6	SAITO	Rq	U7	MİYAZAKI	Rq	U6	NAKAMURA	Rq	U7	NAKAJIMA
Rq	U7	OTSUKA	Rq	U7	AKIYAMA	Rq	U8	KOGA	Rq	U7	MATSUMOTO, E.	Rq	U8	HAYASHI, KI.
Rq	U8	TATSUMI	Rq	U8	OTSUKA	Rq	J/M/F	YAMASHITA	Rq	U8	MIYO	Rq	J/M/F	SHINJO
Rq	M	MATSUSHIMA	Rq	U8	DUONG, T.	Rq	J/M/F	UEDA, M.	Rq	J/M/F	TATSUMI	Rq	J/M/F	FUJIMOTO
E1	J/M/F	JIN	E1	J/M/F	SHINOMIYA	E1	J/M/F	KITAGAWA	E1	J/M/F	TANAKA, S.	E1	J/M/F	FURUKAWA
E1	J/M/F	KIDA	E1	J/M/F	FURUKAWA	E1	J/M/F	TANAKA, M.	E1	J/M/F	FUJII, C.	E1	J/M/F	FURUTA
E1	J/M/F	ARE	E1	J/M/F	YAMASHITA	E1	J/M/F	KUBOTA	E1	J/M/F	NOHAKA	E1	J/M/F	INU1
E1	J/M/F	TANAKA, Y.	E1	J/M/F	KASAMATSU	E1	J/M	BEREZIKOVA	E1	J/M/F	YAMAZAWA	E1	J/M	SATO, S.
E1	J/M/F	CHIDA	E1	J/M	SHIBATA etc.				E1	J/M	TAIRA			
E1	J/M	MOTOBAYASHI												
Rq	U1	KANEDA	Rq	U1	KONDO	Rq	U	INUI	Rq	U1	KAN	Rq	U	HIBI
Rq	U2	SHIMA	Rq	U2	KOBAYASHI, K.	Rq	U	HAYASHI, KA.	Rq	U2	ARASHIMA	Rq	U	YAMAMOTO
Rq	U3	MİYAZAKI	Rq	U3	FUKUSHIMA	Rq	U4	YAMAZAWA	Rq	U3	MASHITA	Rq	U4	UEDA, M.
Rq	U4	ISHIBASHI	Rq	U4	SHIMA	Rq	U5	KYOTANI	Rq	U4	FUKUTOMI	Rq	U5	SUZUKI, M.
Rq	U5	HAYASHI, KI.	Rq	U5	HIROSAKA	Rq	U6	SUZUKI, M.	Rq	U5	HIBI	Rq	U6	IDE
Rq	U6	ARASHIMA	Rq	U6	SAITO	Rq	U7	MİYAZAKI	Rq	U6	NAKAMURA	Rq	U7	NAKAJIMA
Rq	U7	OTSUKA	Rq	U7	AKIYAMA	Rq	U8	KOGA	Rq	U7	MATSUMOTO, E.	Rq	U8	HAYASHI, KI.
Rq	U8	TATSUMI	Rq	U8	OTSUKA	Rq	M	AKIYAMA	Rq	U8	MIYO	Rq	M	FUJII, M.
Rq	M	KYOTANI	Rq	M	KOMORI	Rq	J/M/F	HATANO	Rq	M	TATSUMI	Rq	M	SHINJO
Rq	M	FUJIIHARA	Rq	M	KASAMATSU	Rq	J/M/F	TANAKA, M.	Rq	M	TANAKA, MA.	Rq	M	TACHIKAWA
Rq	M	TANAKA, Y.	Rq	M	TAKAI	Rq	J/M/F	UEDA, M.	Rq	M	FUJII, C.	Rq	M	YAMAKAWA
Rq	M	KIDA	Rq	M	SHOJI	Rq	J/M/F	MIZUNO	Rq	M	YAMAZAWA	E1	F	FUJIMOTO
E1	J/M/F	ARE	E1	J/M/F	SHINOMIYA	E1	J/M/F	IWAI, Y.	E1	J/M/F	NAMBA	E1	J/M/F	INU1
E1	J/M/F	MATSUSHIMA	E1	J/M/F	YAMASHITA	E1	J/M	SANO, M.	E1	J/M/F	NOHAKA	E1	J/M/F	FURUTA
E1	J/M/F	CHIDA	E1	J/M/F	NAKATA	E1	J/M	KUBOTA	E1	J/M/F	NOHAKA, S.	E1	J/M/F	SATO, S.
E1	J/M	HISAOKA	E1	J/M/F	FURUKAWA	E1	J/M		E1	J/M/F	HATANO	E1	J/M	
E1	J/M	MOTOBAYASHI	E1	J/M	MATSUMURA				E1	J/M/F		E1	J/M	

Monday		Tuesday		Wednesday		Thursday		Friday	
Rq	MATH	JC	IMA1	BIOL	GOTO	MATH	MI GUCHI	U	CHEM
E1	MATH	JC	MATSUURA	BIOL	TAKISAWA	MATH	GOMYO	U	CHEM
RqE1	MATH	JC	NAKATANI	PHYS	OGAWA YOKO	MATH	TAKAHASHI	U	CHEM
E1	PHYS	JC	SASAGAWA	PHYS	SATO, T.	MATH	FUJI	U	CHEM
E1	JGV	JC	HIBI	PHYS	TOGAWA	MATH	MIYATA	U	CHEM
E1	ABE	JC	MATSUMURA	PHYS	HADA	MATH	MORITA	U	CHEM
E1	TANAKA, Y.	JC	YAMAKAWA	PHYS	NEMURA	MATH	YAMADA	U	CHEM
E1	KYOTANI	JC	IWAI, S.	PHYS	HANDA	MATH	MIKURIYA	U	CHEM
E1	ISHIBASHI	MDR	KOMORI	MATH	DATE	CHEM	NAITO	F	HIST
E1	IWADE	MDR	TAKAI	POLI	KUBOTA		FUJII, C.	J/M/F	A2
E1	CHIDA	MDR	TACHIKAWA	PHYS	MATSUNO		NAKAMURA	J/M/F	B1
E1	HISHOKA	MDR	/ SHIMOMURA	LIS	MIYAZAKI		MITO	J/M/F	B2
E1	FUKUMITSU	MDR	MATSUOKA	A2	WADA		NAMBA	J/M/F	B2
E1	GONOJI	MDR	SANO, M.	B1	HATANO		MASHITA	J/M	B2
E1		MDR	FUJITHIRA	GV	NAKATA		TANAKA, MA.	J/M	THO
E1		MDR	IWAI, Y.	C1	SUZUKI, M.		OKUNO	J/M	CON
E1		MDR	GONOJI	WRT	IWAI, Y.		YAMAMOTO, K.	J/M	LIT
E1		MDR	SHOJI	C1	IWAI, S.		INOMO	J/M	SHIBATA
E1		MDR	NAKATA	CON	IMURA				
E1		MDR	MURATA	B2					
E1		MDR	SHIBATA	SOC					
E1		MDR	MIZUNO						
Rq	MATH	UJPN	IMA1	BIOL	GOTO	MATH	MI GUCHI	U	CHEM
E1	MATH	UJPN	MATSUURA	BIOL	TAKISAWA	MATH	GOMYO	U	CHEM
RqE1	PHYS	UJPN	NAKATANI	PHYS	OGAWA YOKO	MATH	TAKAHASHI	U	CHEM
E1	GV	UJPN	SASAGAWA	PHYS	SATO, T.	MATH	FUJI	U	CHEM
E1	L1S	UJPN	HIBI	PHYS	TOGAWA	MATH	MIYATA	U	CHEM
E1	B2	UJPN	MATSUMURA	PHYS	HADA	MATH	MORITA	U	CHEM
E1	KV	UJPN	YAMAKAWA	PHYS	NEMURA	MATH	YAMADA	U	CHEM
E1	GV	UJPN	IWAI, S.	PHYS	HANDA	MATH	MIKURIYA	U	CHEM
E1	L1S	JDR	GONOJI	MATH	DATE	CHEM	NAITO	F	HIST
E1	HIS	JDR	KOMORI	POLI	IMURA		NAITO	M	CON
E1	CON	JDR	SANO, M.	PHYS	MATSUNO		ATSUTA	J/M/F	C1
E1	L1T	JDR	SHIBATA	GV	DUONG, T		KAI	J/M	SPK
E1		JDR	TAKAI	A2	WADA		UEDA, A.	J/M	THO
E1		JDR	FUJITHIRA	B1	HIROKAWA		OKUNO	J/M	LIT
E1		JDR	MIZUNO	B2	KOMORI		INOMO	J/M	SHIBATA
E1		JDR	MURATA	B2	NAKATA		KOBAYASHI, S.	J/M	ITO
E1		JDR		C1	SAHO, M.		YAMAMOTO, K.	J/M	KOYAMA
E1		JDR		HIS					
E1	UJPN	ENG	VRBOVSKY	LIN	VRBOVSKY		KIM		
E1	HIS	UJPN	IWAI, Y.	C1	TAKAI		ATSUTA		
E1	RDG	UJPN	SHOJI	SPK	HIROKAWA		OKUNO		
E1	B2	MIS	IWAI, S.	C1	SHOJI		TAKATSUKI		
E1	B2	MIS	GONOJI	B2	OTANI		PENG		
E1	L1N	MIS	MURATA	CON					
E1	C1	MIS	MATSUMURA	B2					
E1	SOC	JDR	YAMAKAWA	CON					
E1		JDR	IMA1						
E1		JDR	MATSUURA						
E1		JDR							
E1		JDR							

M

Fall and Winter Terms, 2024

Monday			Tuesday			Wednesday			Thursday			Friday			
level	subject	code	Instructor(s)	level	subject	code	Instructor(s)	level	subject	code	Instructor(s)	level	subject	code	Instructor(s)
A2	MGV β	395002	MATSUSHIMA	B1	KV	395060	DUONG, T	B1	RDG	395037	YAMASHITA	B1	LIS	395041	TATSUMI
B1	RDG	395036	JIN	B2	SPK	395082	SHINOMIYA	B2	KV	395094	UEDA, M.	B2	RDG	395068	TANAKA, S.
B2	LIS	395071	KIDA	B2	GV	395386	FURUKAWA	B2	WRT	395376	KITAGAWA	B2	GV	395389	FUJII, C.
B2	KV	395092	ABE	C1	SPK	395117	YAMASHITA	C1	GV	395126	TANAKA, M.	C1	RDG	395101	NONAKA
C1	SPK	395116	TANAKA, Y.	C1	KV	395131	KASAMATSU	C1	WRT	395311	KUBOTA	C1	GV	395128	YAMAZAWA
C1	WRT	395310	CHIDA	B2	THO	395166	SHIBATA <i>etc.</i>	B2	CON	395202	BEREZINOVA	C1	HIS	395176	TAIRA
B2	THO	395165	MOTOBAYASHI												
A2	MGV α	395001	KYOTANI	A2	MGV β	395002	AKIYAMA	A2	MGV α	395001	TATSUMI	A2	MGV α	395001	TATSUMI
B1	MGV α 1	395003	FUJIIHIRA	B1	SPK	395050	HATANO	B1	SPK	395050	HATANO	B1	MGV α 1	395003	TANAKA, MA.
B1	MGV α 2	395004	TANAKA, Y.	B2	SPK	395083	TANAKA, M.	B2	SPK	395083	TANAKA, M.	B1	MGV α 2	395004	FUJII, C.
B2	WRT	395375	ABE	B2	RDG	395066	SHINOMIYA	B2	GV	395387	UEDA, M.	B2	KV	395095	NAMBA
B2	SPK	395080	MATSUSHIMA	B2	LIS	395073	YAMASHITA	C1	RDG	395100	MIZUNO	B2	WRT	395378	NONAKA
C1	LIS	395105	GHIDA	C1	RDG	395039	NAKATA	C1	LIS	395108	IWAI, Y.	C1	KV	395133	TANAKA, S.
C1	GV	395124	KISHIDA	C1	LIS	395107	FURUKAWA	B2	HIS	395184	SANO, M.	C1	SPK	395119	HATANO
B2	LIT	395190	HISAOKA	B2	THO	395167	MATSUMURA	B2	SOC	395215	KUBOTA				
C1	CON	395195	MOTOBAYASHI												
A2	RDG	395010	TANAKA, Y.	A2	LIS	395015	MIYAZAKI	A2	SPK	395025	MITO	A2	KV	395030	SHIMOMURA
B1	LIS	395040	KYOTANI	B1	KV	395062	WADA	B1	WRT	395046	NAMBA	B1	GV	395057	MATSUOKA
B2	GV	395385	ISHIBASHI	B2	GV	395388	HATANO	B2	RDG	395069	MASHITA	B2	RDG	395070	FURUTA
C1	LIS	395106	IWADE	C1	GV	395127	NAKATA	B2	SPK	395084	TANAKA, MA.	B2	LIS	395076	FUJII, M.
C1	KV	395130	GHIDA	C1	WRT	395312	SUZUKI, M.	B2	WRT	395379	OKUNO	B2	EDU	395155	SUZUKI, Y.
B2	HIS	395181	HISAOKA	C1	LIN	395137	IWAI, Y.	C1	WRT	395313	YAMAMOTO, K.	B2	THO	395168	MATANABE, C.
B2	HIS	395182	FUKUMITSU	B2	CON	395203	IWAI, S.	C1	HIS	395177	INOMO	C1	CON	395196	KOYAMA
B2	LIT	395191	GONOJI	B2	SOC	395216	IMURA					C1	LIT	395287	SHIBATA
B1	GV	395056	FUJIIHIRA	A2	GV	395055	DUONG, T	A2	WRT	395020	ATSUTA	—	CON	395200	MATANABE, C.
B2	LIS	395072	KAWASHIMA	B1	WRT	395045	WADA	B1	SPK	395051	KAI	C1	SPK	395121	ATSUTA
B2	KV	395093	BABA	B2	RDG	395067	HIROKAWA	B2	KV	395096	UEDA, A.	B2	THO	395169	ONISHI
C1	GV	395125	IWADE	B2	WRT	395377	KOMORI	C1	GV	395129	OKUNO	B2	LIT	395192	SHIBATA
B2	HIS	395183	FUKUMITSU	C1	LIN	395138	NAKATA	B2	HIS	395185	INOMO	B2	SOC	395217	ITO
B2	CON	395201	TSUNODA	C1	HIS	395175	SANO, M.	B2	CON	395205	KOBAYASHI, S.	C1	HIS	395179	KOYAMA
C1	LIT	395285	MIZUNO					C1	HIS	395178	YAMAMOTO, K.				
—	HIS	395180	FUKUMITSU	—	LIN	395140	VRBOVSKY	B1	KV	395064	KIM				
B2	RDG	395065	KAWASHIMA	C1	SPK	395118	TAKAI	B2	LIS	395074	ATSUTA				
B2	SPK	395081	IWADE	C1	KV	395132	HIROKAWA	C1	RDG	395102	OKUNO				
C1	LIN	395136	IWAI	B2	LIN	395141	SHOJI	C1	LIS	395109	TAKATSUKI				
C1	SOC	395210	HAYASHI, H.	B2	CON	395204	OTANI	B2	CON	395206	PENG				

I

II

III

IV

V

My Weekly Schedule

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
I					
II					
III					
IV					
V					

略号 / Abbreviations

プログラム/Programs	
【U】	Undergraduate Students Program
【J】	Japanese Studies Program
【M】	Maple Program
【F】	OU Foundation Program (秋～冬学期のみ)
【O】	OU-MU Program (春～夏学期のみ)

日本語レベル/Japanese Levels	
A2	初中級/Pre-intermediate
B1	中級/Intermediate
B2	中上級/Upper-intermediate
C1	上級/Advanced

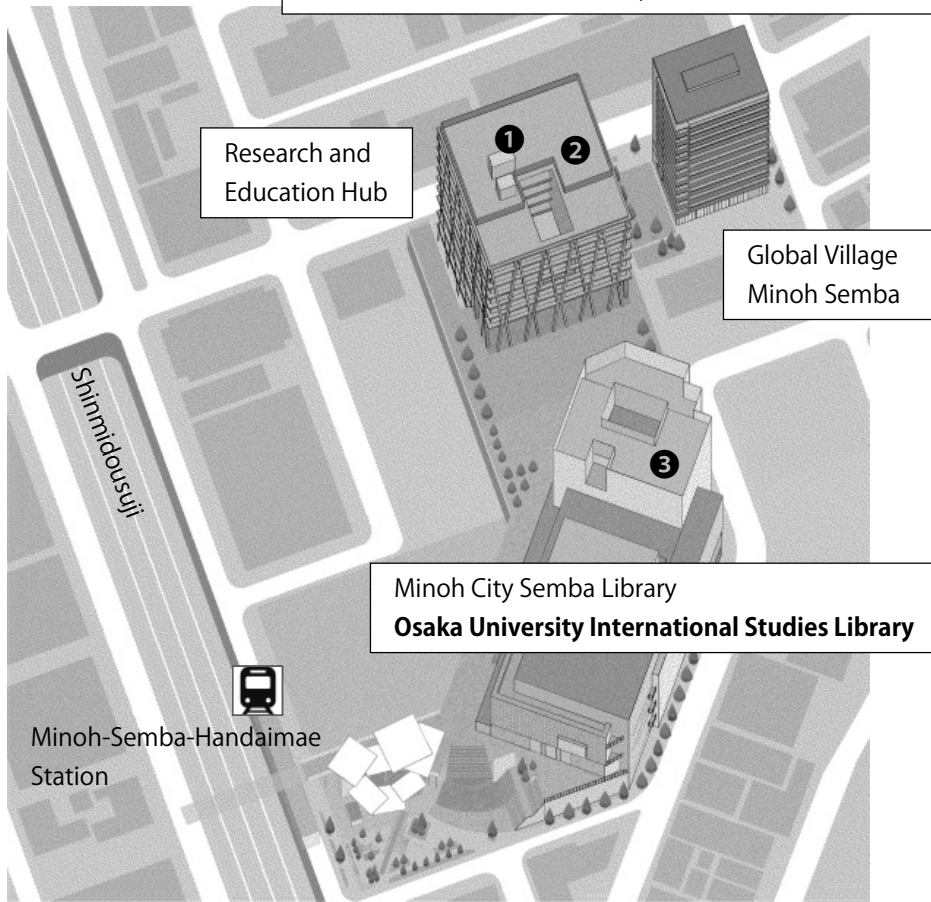
授業科目/Subjects for 【J】 【M】 【F】 【O】 Program	
日本語実習科目/Japanese Language Subjects	
RDG	読解/Reading
LIS	聴解/Listening
WRT	文章表現/Writing
SPK	口頭表現/Speaking
GV	文法・語彙/Grammar & Vocabulary
KV	漢字・語彙/Kanji & Vocabulary
JWRT	J文章表現/Writing for 【J】 Program Students (春～夏学期のみ)
JGV	日本語初中級文法・語彙/日本語中級文法・語彙/Grammar & Vocabulary for 【J】 Program Students (秋～冬学期のみ)
MGV	現代日本語初中級文法・語彙/現代日本語中級文法・語彙/Grammar & Vocabulary for 【M】 Program Students
FGV	日本語初中級文法・語彙/日本語中級文法・語彙/Grammar & Vocabulary for 【F】 Program Students (秋～冬学期のみ)
研究科目/Research Subjects	
LIN	日本語学研究基礎/日本語学研究/Japanese Linguistics
EDU	日本語教育学研究基礎/日本語教育学研究/Japanese Language Education
THO	日本思想文化学研究基礎/日本思想文化学研究/Japanese Thought
HIS	日本歴史文化学研究基礎/日本歴史文化学研究/Japanese History
LIT	日本文献文化学研究基礎/日本文献文化学研究/Japanese Literature
CON	日本近現代文化学研究基礎/日本近現代文化学研究/Japanese Contemporary Culture
SOC	日本社会文化学研究基礎/日本社会文化学研究/Japanese Social Sciences
演習科目/Seminar Subjects	
JDR	日本語・日本文化研究指導/日本語・日本文化研修指導/Directed Research and Reading for 【J】 Program Students
MDR	日本語日本文化専門演習/Directed Research and Reading for 【M】 Program Students
MIS	自主研究/Independent Study for 【M】 Program Students
MCC	多文化・地域共生/Multicultural Community Cohesion

授業科目/Subjects for 【U】 【F】 【O】 Program	
UJPN	学部留学生日本語/Japanese for 【U】 Program Students
FJPN	OU学部留学生日本語/Japanese for 【F】 Program Students (秋～冬学期のみ)
OJPN	大阪・マヒドン留学生日本語/Japanese for 【O】 Program Students (春～夏学期のみ)
JC	日本事情/Japanese Cultural Background
BIOL	生物/Biology
CHEM	化学/Chemistry
MATH	数学/Mathematics
PHYS	物理/Physics
HIST	日本史/History (秋～冬学期のみ)
POLI	政治・経済/Politics & Economics (秋～冬学期のみ)

みのお
箕面キャンパスマップ
Minoh Campus Map

箕面キャンパスマップ Minoh Campus Map

- ① Graduate School of Language and Culture/School of Foreign Studies
- ② Center for Japanese Language and Culture
- ③ International Studies Library



○住所

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5番10号 / 3-5-10, Senba-higashi, Minoh, Osaka

【周辺駅・バス停地図 / Map of the surrounding Area】



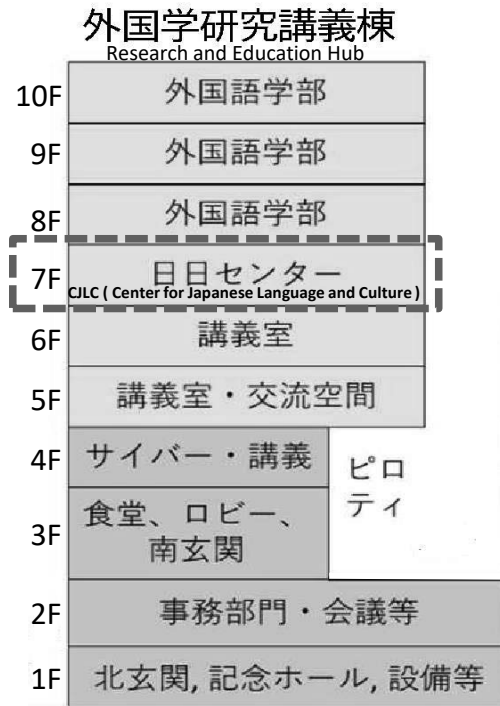
○アクセス

- 電車 北大阪急行線 箕面船場阪大前駅下車 徒歩約3分
- バス 阪急バス [千里中央バスターミナルから]
箕面中央線 箕面船場阪大前駅バス停下車 徒歩約3分
小野原東線 (※朝・夕のみ) 船場団地バス停下車 徒歩約1分
豊中市内線 新船場南橋バス停下車 徒歩約7分

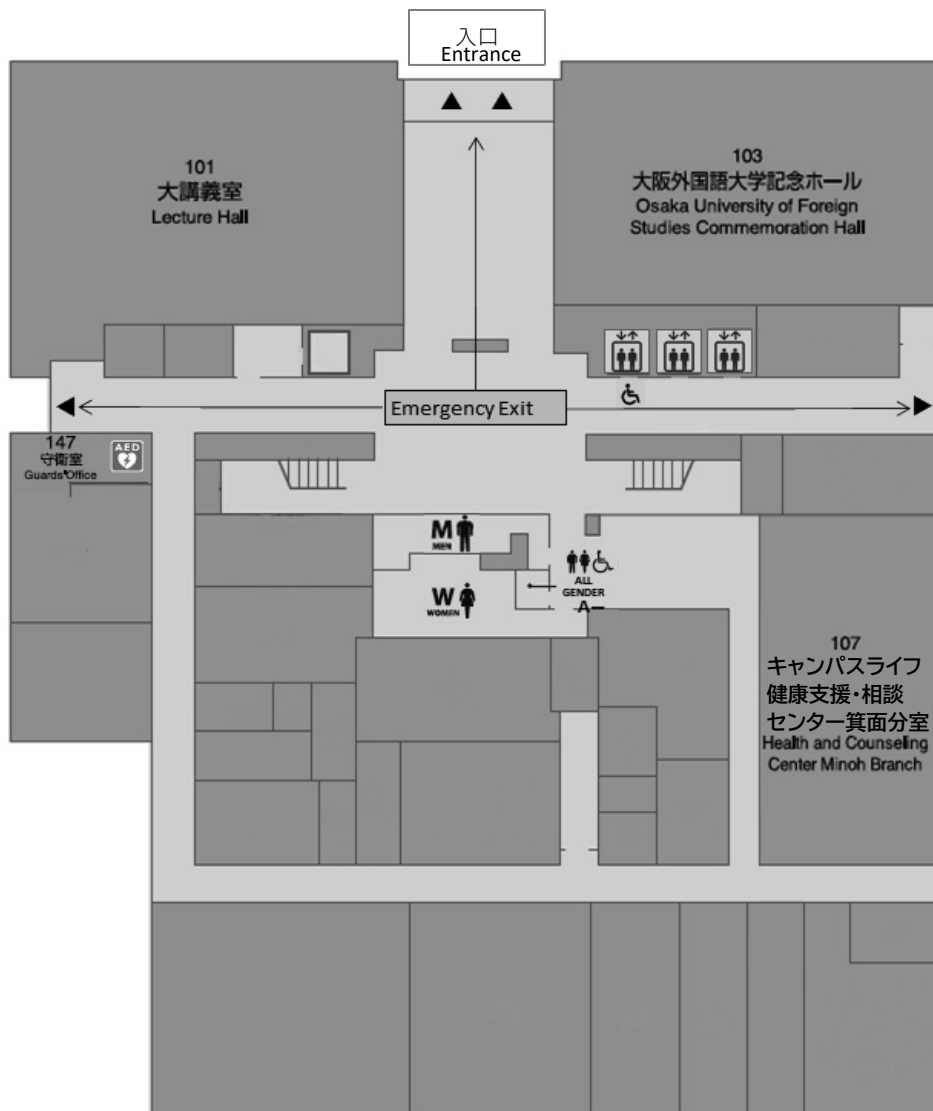
○How to get to Minoh Campus

- By railway
Kita Osaka Kyuko Railway, get off at Minoh-Semba-Handai-mae Station
→ 3 minutes on foot
- By Bus
Hankyu Bus [From Senri-Chuo Bus Terminal]
Minoh Chuo Line, get off at Minoh-Semba-Handai-mae Station bus stop
→ 3 minutes on foot
Onohara Higashi Line (*only in the morning and evening), get off at Senba Danchi bus stop
→ 1 minute on foot
Toyonaka City Line, get off at ShinSemba Minami-bashi bus stop
→ 7 minutes on foot

フロア図 (関連部分抜粋)

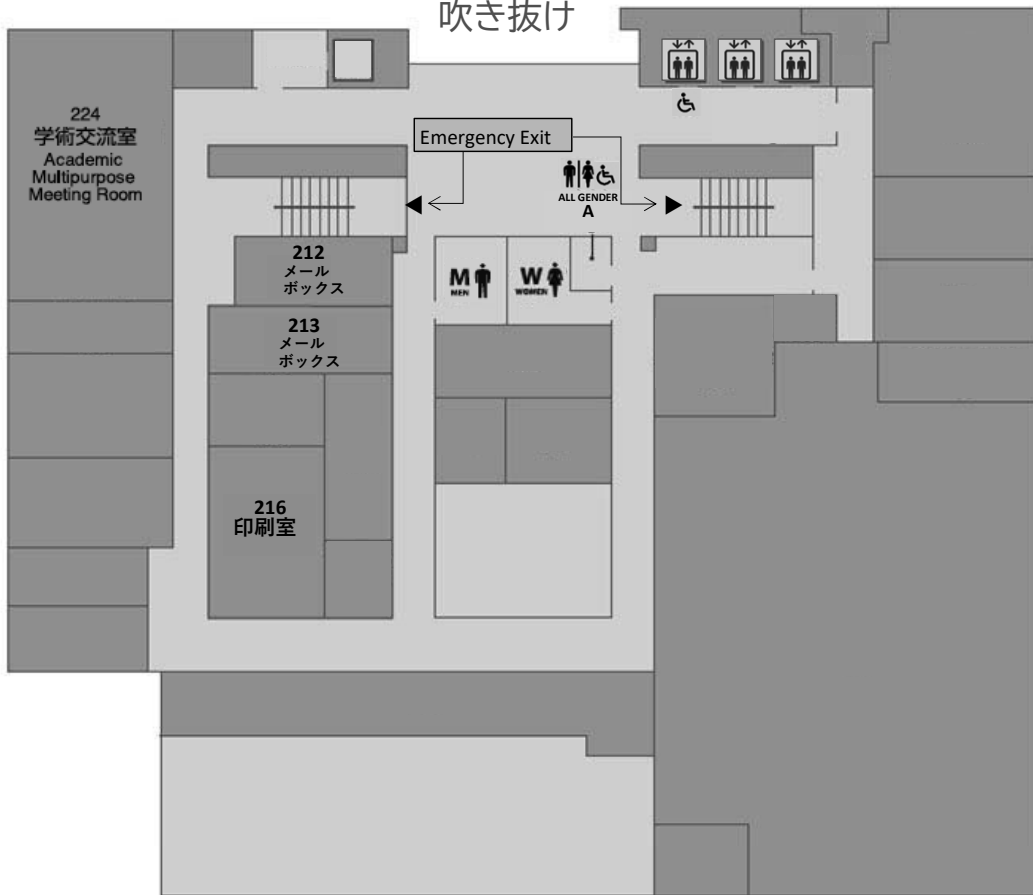


1F



2F

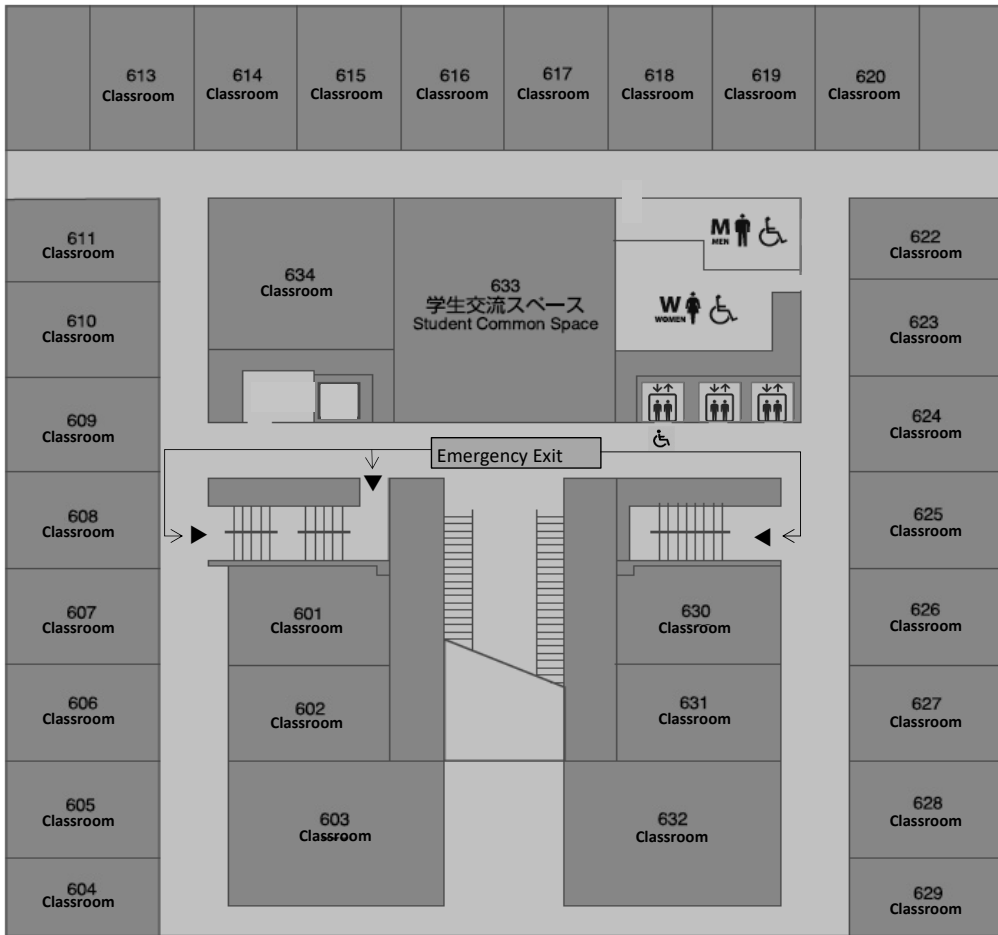
吹き抜け



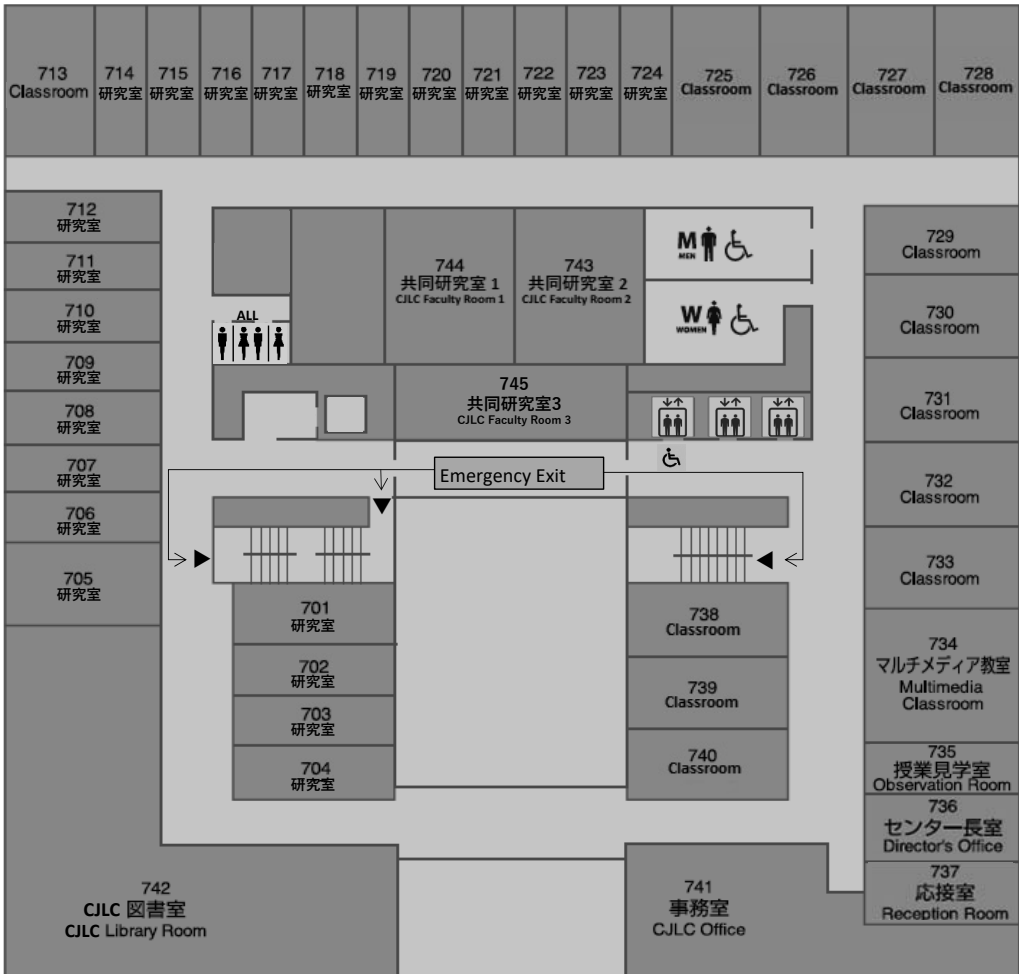
5F



6F



7F



部屋番号 Room Number	施設 Facility
743	共同研究室 1 CJLC Faculty Room 1
744	共同研究室 2 CJLC Faculty Room 2
745	共同研究室 3 CJLC Faculty Room 3

教員研究室

Instructor's Office

部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name	部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name
701	日比 伊奈穂 HIBI I.	714	松浦 幸祐 MATSUURA K.
702	松岡 里奈 MATSUOKA R.	715	岩井 康雄 IWAI Y.
703	下村 朱有美 SHIMOMURA A. 笹川 史絵 SASAGAWA F.	716	佐野 方郁 SANO M.
704	藤平 愛美 FUJIHIRA M.	717	高井 美穂 TAKAI M.
706	松村 薫子 MATSUMURA K.	718	岸田 泰浩 KISHIDA Y.
707	中谷 真也 NAKATANI S.	719	荘司 育子 SHOJI I.
708	岩井 茂樹 IWAI S.	720	小森 万里 KOMORI M.
709	中田 一志 NAKATA H.	721	水野 亜紀子 MIZUNO A.
710	柴田 芳成 SHIBATA Y.	722	立川 真紀絵 TACHIKAWA M.
711	今井 忍 IMAI S.	723	五之治 昌比呂 GONOJI M.
712	山川 太 YAMAKAWA F.	724	村田 真実 MURATA M.

アドバイザー / Advisors

[U] Program	
U1 } U8	YAMAKAWA F. IMAI S. MATSUMURA K. MATSUURA K. HIBI I. NAKATANI S. SASAGAWA F.

[M] Program	
M1 } M5	TAKAI M. IWAI S. KOMORI M. TACHIKAWA M. SHIMOMURA A. MATSUOKA R.

[F] Program	
F1 } F2	SANO M. FUJIHIRA M.

[J] Program	
	SHIBATA Y. IWAI Y. NAKATA H. IMAI S. SHOJI I. GONOJI M. IWAI S. KOMORI M. YAMAKAWA F. MATSUMURA K. SANO M. MIZUNO A. TAKAI M. MURATA M. FUJIHIRA M. MATSUURA K.

発 行 令和 6 年 9 月

Published in September, 2024

編 集 大阪大学日本語日本文化教育センター

Edited by Center for Japanese Language and Culture,
Osaka University

〒562-8678 大阪府箕面市船場東 3 丁目 5 番 10 号

3-5-10, Senba-higashi, Minoh, Osaka

Phone (072) 730-5075, 5072

(日本語日本文化教育センター事務室)

<https://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/>

Email cjlc@office.osaka-u.ac.jp